

宜野座村 公共施設等総合管理計画

平成29年3月

(令和4年6月改定)

目次

第1章	公共施設等総合管理計画の目的等	1
1	公共施設等総合管理計画の目的	2
2	公共施設等総合管理計画の位置付け	2
3	計画期間	3
4	個別施設計画	3
第2章	むらの概要	4
1	位置・面積	5
2	産業	6
3	人口動向	7
4	財政状況	9
第3章	公共施設等の現状と将来見通し	12
1	対象施設	13
2	施設の数量	13
3	保有量の推移	17
4	年度別整備状況	18
5	将来の更新費用の見通し	22
第4章	推進体制	29
1	推進体制	30
第5章	基本方針	31
1	基本方針	32
2	安全確保の実施方針	38

3	耐震化の実施方針	38
4	ユニバーサルデザインの推進	38
第6章	施設類型毎の基本方針	39
1	建物系施設	40
2	インフラ系施設	59

第1章

公共施設等総合管理計画の目的等

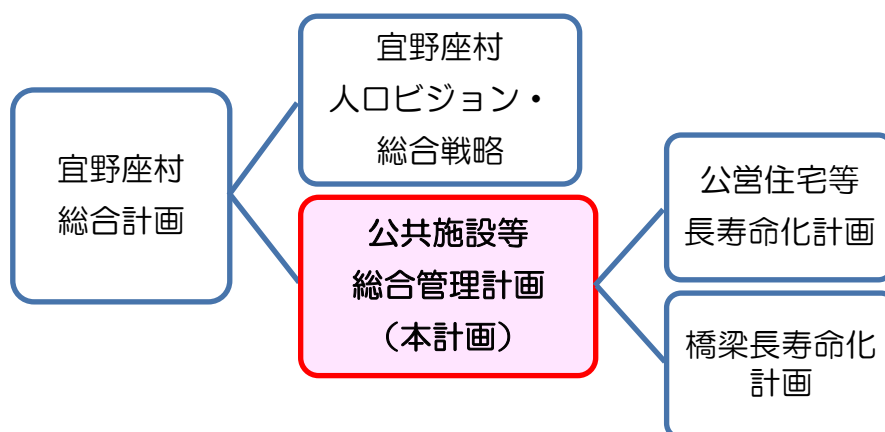
1 公共施設等総合管理計画の目的

本計画は、本村における公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって計画的に更新・統廃合・長寿命化などを行うことで、財政負担の軽減・平準化につなげることを目的とし、公共施設等の総合的かつ計画的な管理推進の基本方針を取りまとめたものです。

今回、各種個別施設計画の策定内容を反映し「宜野座村公共施設等総合管理計画（第一回改訂版）」（以下、本計画とする）として、各取り組みの進捗状況等も踏まえ一部見直しを行いました。

2 公共施設等総合管理計画の位置付け

本計画は、本村の上位計画である「宜野座村総合計画」を下支えする計画であり、各政策分野の中で公共施設面の取組みに対して横断的な指針を提示するものです。また、「公営住宅長寿命化計画」、「橋梁長寿命化計画」などの個別の公共施設計画については、本計画を上位計画と位置づけます。



3 計画期間

本計画は、公共施設の寿命が数十年におよび、中長期的な視点が不可欠であることから今後40年先を見据えた将来推計を実施し、方向性の設定を行います。また、社会環境や人口動態の変化などを考慮し、本計画の計画期間は、平成29年度から令和8年度までの10年間とし、平成29年度から令和3年度までの5年を前期期間、令和4年度から令和8年度までの5年を後期期間として、5年毎に更新します。

計画期間：平成29年度から令和8年度までの10年間（5年毎に更新）
 前期期間：平成29年度から令和3年度
 後期期間：令和4年度から令和8年度

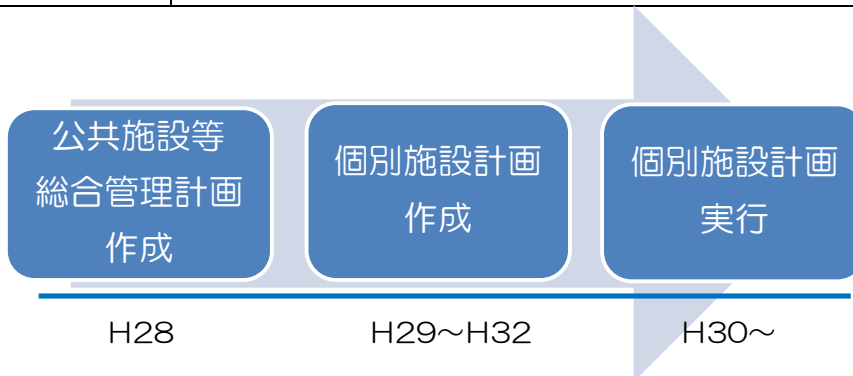
計画内容は国の動向や社会情勢の変化や財政事情、事業の進捗状況等に応じて、計画期間中においても必要に応じて見直しを行うものとします。

4 個別施設計画

公共施設等総合管理計画は今後の施設管理方法を示す方針となっています。公共施設等総合管理計画を策定後は、令和2年度までに実行計画となる個別施設計画を作成する必要があります。

個別施設計画策定内容 例

項目	内容
・施設の点検、診断の実施	施設の状態を把握する
・対策内容と実施時期	点検、診断結果より修繕周期や更新等の対策内容や時期を明確化
・対策費用	計画期間に要する対策費用の概算を整理



第2章

むらの概要

1 位置・面積

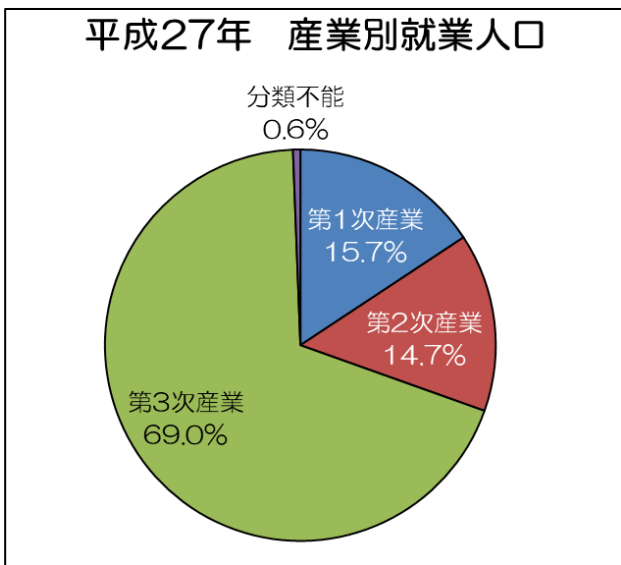


宜野座村は沖縄本島の北部と中南部を結ぶ中間地点に位置し、金武町、恩納村、名護市と接しています。行政区は、松田区、宜野座区、惣慶区、福山区、漢那区、城原区の6区から成ります。

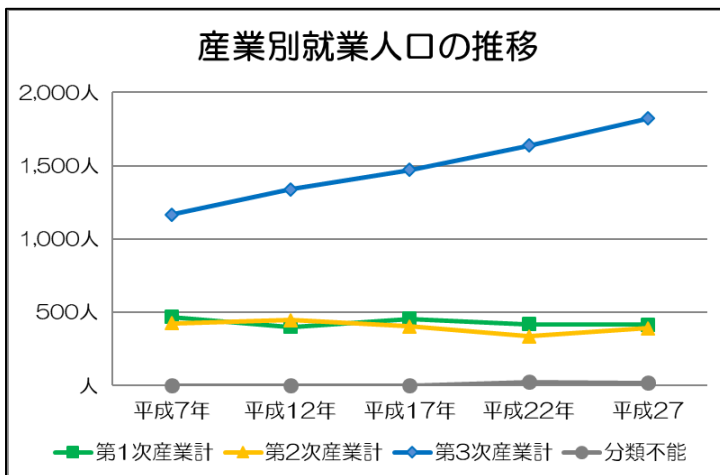
総面積は 31.30 km²となっています。

2 産業

平成27年の国勢調査における宜野座村の産業別就業人口は以下の通りとなっています。第1次産業が15.7%、第2次産業が14.7%、第3次産業が69.0%となっています。平成7年からの推移をみると、第3次産業は増加していますが、第1次産業および第2次産業は横ばいの状況となっています。



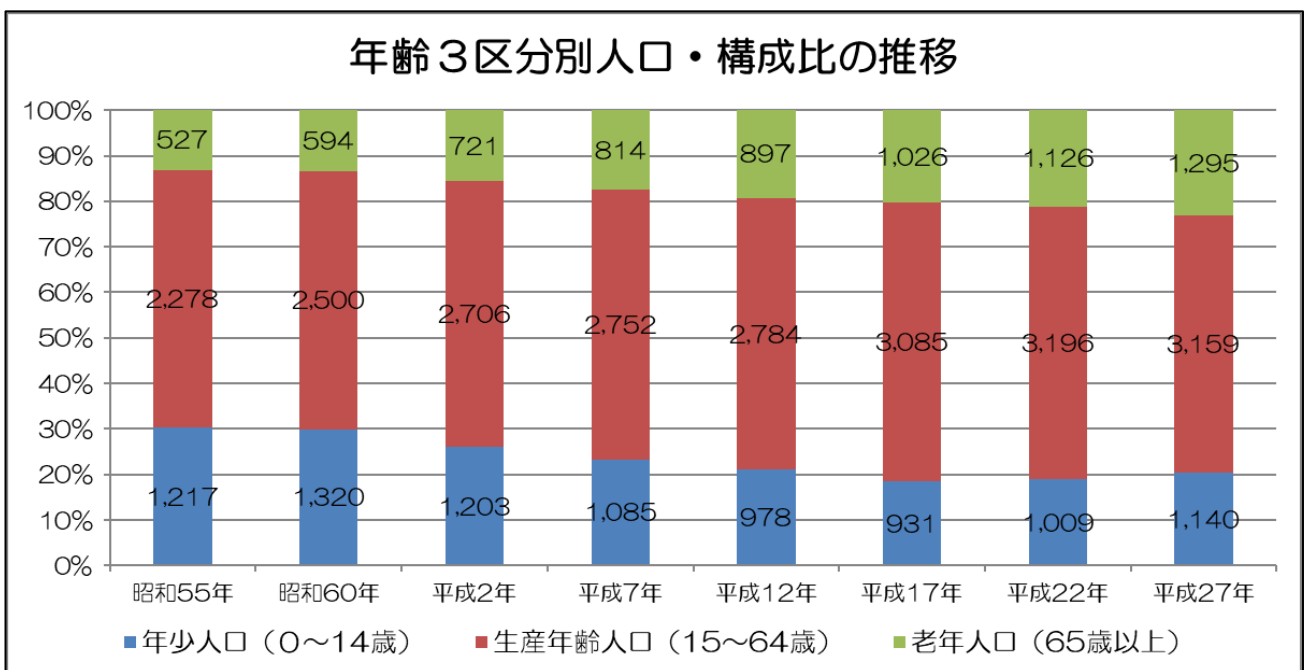
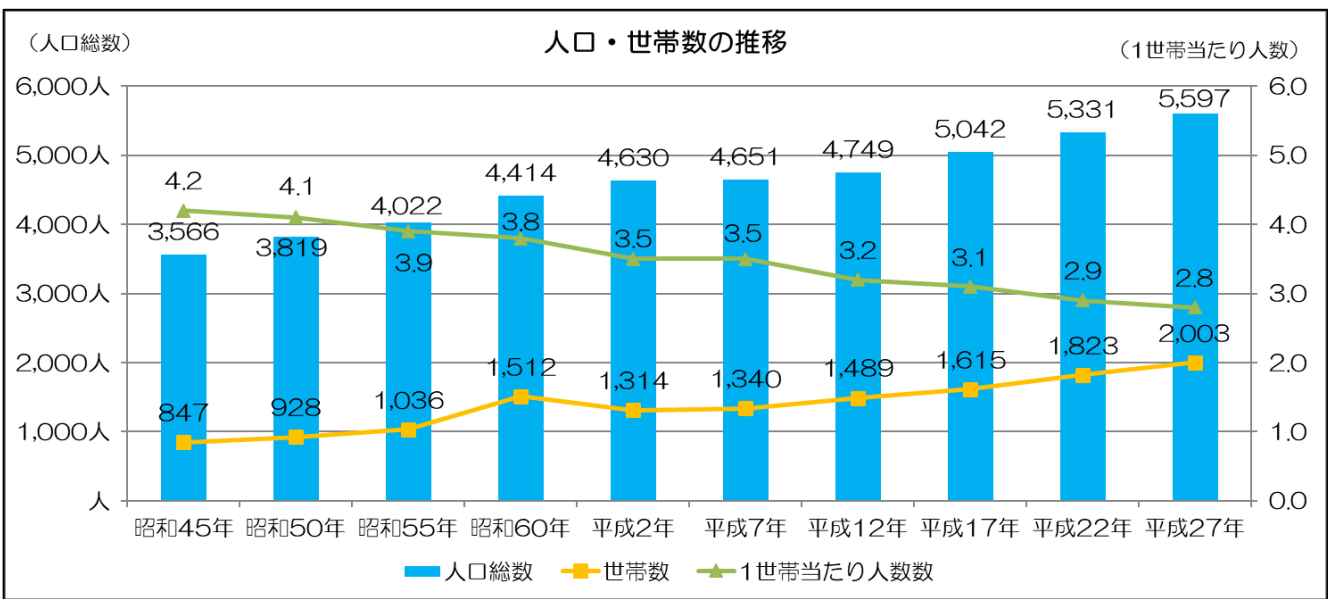
産業分類	就業者数
農業	357
林業	8
漁業	50
第1次産業計	415
鉱業、採石業、砂利採取業	
建設業	292
製造業	97
第2次産業計	389
電気・ガス・熱供給・水道業	24
情報通信業	20
運輸業、郵便業	77
卸売業、小売業	223
金融業、保険業	18
不動産業、物品賃貸業	18
学術研究、専門・技術サービス業	34
宿泊業、飲食サービス業	215
生活関連サービス業、娯楽業	105
教育、学習支援業	166
医療、福祉	473
複合サービス事業	31
サービス業（他に分類されないもの）	225
公務（他に分類されるものを除く）	192
第3次産業	1,821
分類不能	16
総数	2,641



3 人口動向

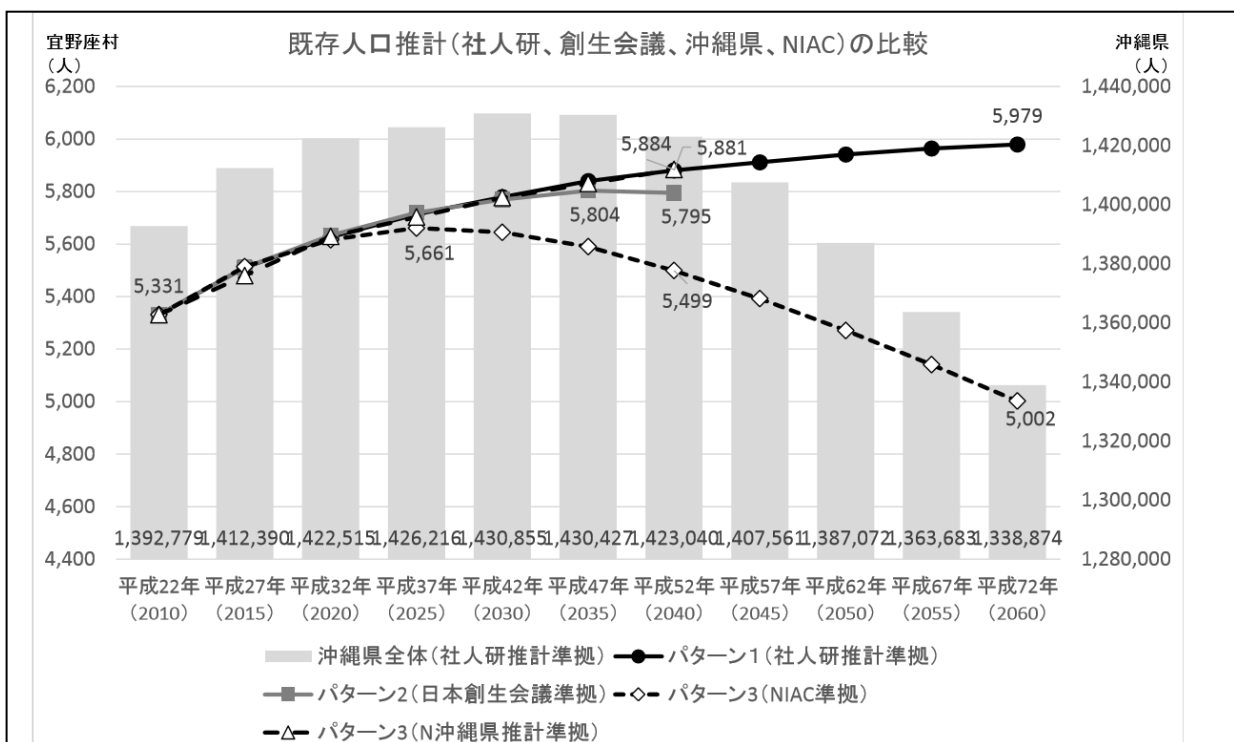
(1) 人口の動向

平成27年の国勢調査における宜野座村の人口は5,597人となっています。昭和45年からの人口の推移を見ると、増加傾向となっていることがわかります。しかし、年齢別人口推移を見ると、平成17年以降は老年人口が年少人口よりも多くなっていることから、少子高齢化が進行していると言えます。



(2) 人口推計

既存人口推計を見てみると、社人研および沖縄県の推計では、人口増加が見込まれますが、日本創生会議の推計では、平成47年（令和17年）をピークに人口を減少、NIACの推計では平成37年（令和7年）をピークに人口が減少に転じる見込みとなっています。いずれにしても、近年の人口増加（合計特殊出生率の上昇、社会増加（U・Iターン）等）を維持・向上しなければ人口が維持・増加出来ないこととなります。（宜野座村人口ビジョン 引用）



4 財政状況

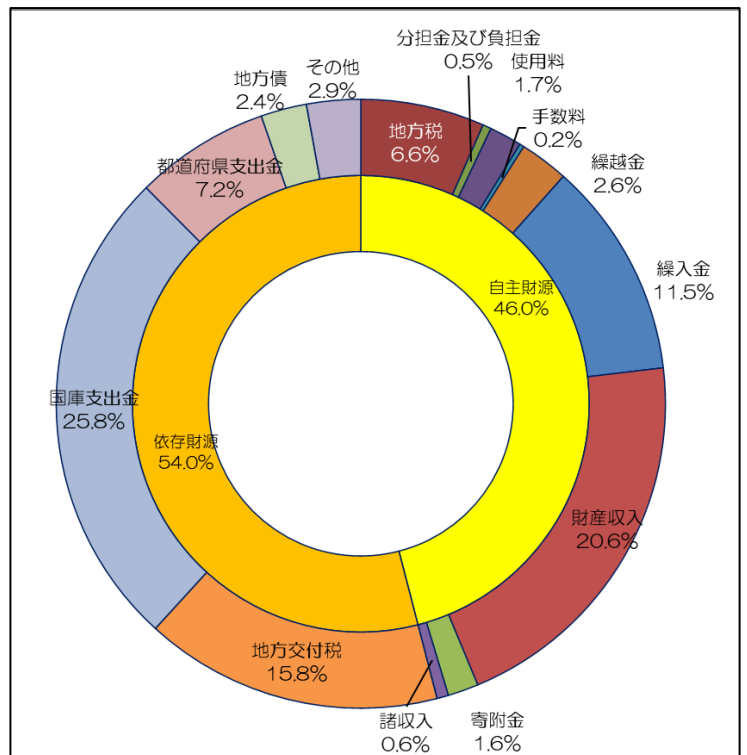
(1) 令和2年度決算額

歳入

令和2年度決算における宜野座村の歳入状況は、歳入合計が約100億円となり、その内訳は、国庫支出金が最も多く、全体の25.8%を占めます。その後に財産収入20.6%、地方交付税15.8%、繰入金11.5%が続きます。令和2年度では新型コロナに係る交付金が発生しているため国庫支出金が過年度に比べ増加し、歳入合計が大きくなっています。

財源の内訳には自主財源と依存財源があります。自主財源とは、自治体が自主的に収入出来る財源となります。これに対して、依存財源は国や県より交付される財源となります。宜野座村では自主財源が46.0%、依存財源が54.0%となっています。

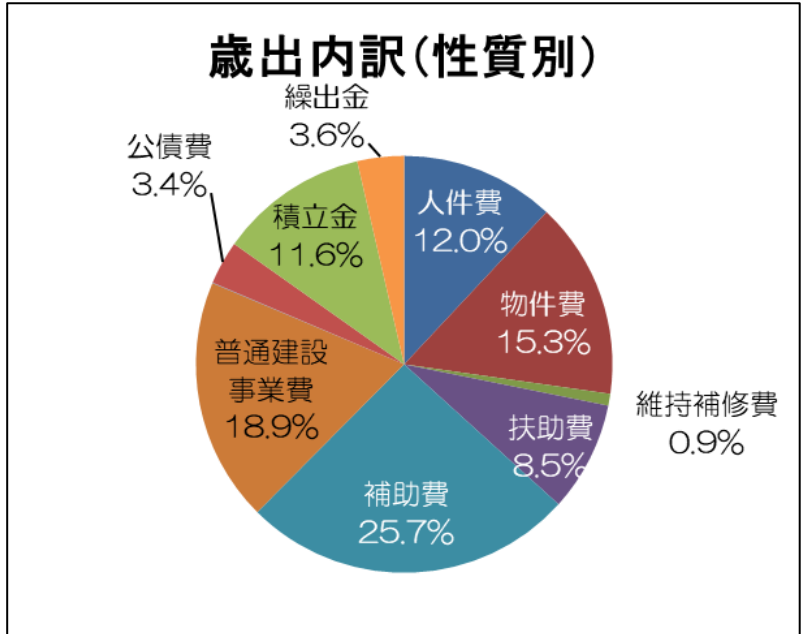
歳入決算の内訳（単位：千円）	
区分	令和2年度
自主財源	4,597,286
地方税	657,606
分担金及び負担金	45,091
使用料	172,583
手数料	23,569
繰越金	259,365
繰入金	1,153,362
財産収入	2,061,409
寄附金	162,820
諸収入	61,481
依存財源	5,402,616
地方交付税	1,581,023
国庫支出金	2,576,803
都道府県支出金	715,199
地方債	243,335
その他	286,256
歳入合計	9,999,902



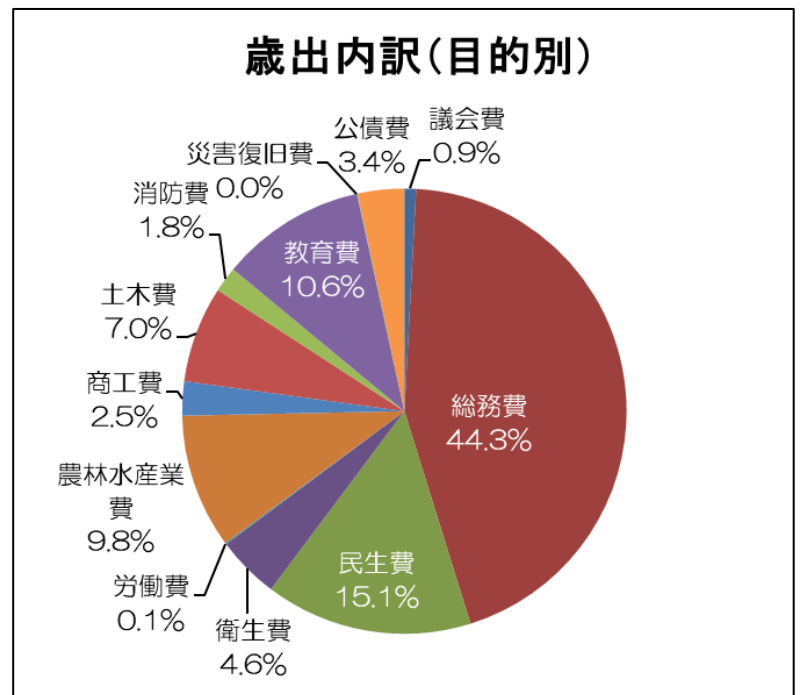
歳出

令和2年度決算における歳出の総額は、約97億円となっています。性質別（何に使用したか）で見ると、補助費が最も多くなっています。施設整備に係る費用である普通建設事業費は18.9%となっています。目的別（どの分野に使用したか）では、総務費が全体の44.3%を占め、続いて民生費が15.1%、教育費が10.6%となっています。

区分	令和2年度
人件費	1,167,029
物件費	1,489,160
維持補修費	89,415
扶助費	830,788
補助費	2,508,523
普通建設事業費	1,842,286
災害復旧事業費	3,954
公債費	330,097
積立金	1,127,510
投資及び出資金	0
貸付金	0
繰出金	353,195
歳出合計	9,741,957



区分	令和2年度
議会費	82,870
総務費	4,319,085
民生費	1,467,459
衛生費	444,947
労働費	8,909
農林水産業費	952,045
商工費	240,869
土木費	681,616
消防費	180,113
教育費	1,029,993
災害復旧費	3,954
公債費	330,097
諸支出金	0
歳出合計	9,741,957



(2) 財政状況の推移

歳入歳出の推移

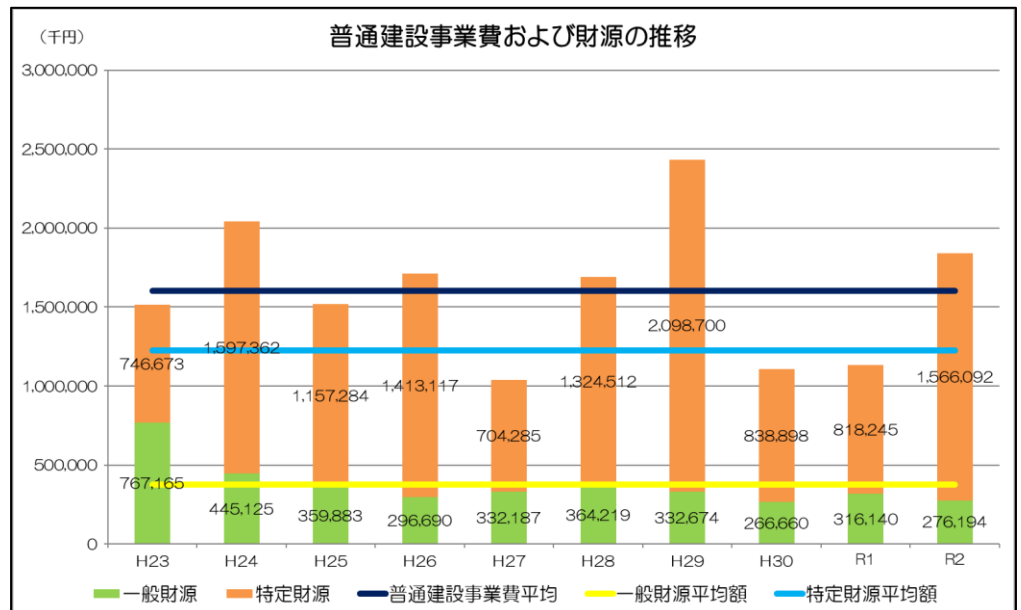
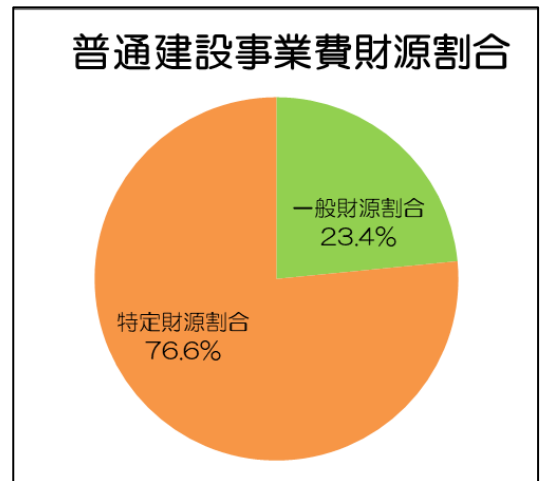
過去10年の歳入平均額は約78億円、歳出平均額は77億円となっています。令和2年度は新型コロナウイルスに関する事業等により歳入歳出が増加しています。

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	平均
歳入	7,145,272	7,798,297	7,084,046	7,737,389	7,324,308	7,955,690	8,588,685	7,729,569	7,729,569	9,741,957	7,883,478
歳出	6,751,505	7,485,657	6,799,261	7,565,257	7,156,544	7,726,996	8,295,235	7,491,927	7,491,927	9,999,902	7,676,421

普通建設事業費の推移

施設整備に係る普通建設事業費の推移を見ると、平均額は約16億円となっています。平成20年度には宜野座村IT産業等集積拠点施設の第2サーバーファームや宜野座村障害福祉センター等が整備されています。

財源の内訳には、一般財源（使用用途が決まっていない収入）と特定財源（使用用途が決まっている収入）があります。過去10年の財源内訳を見ると、一般財源が23.4%、特定財源が76.6%となっています。



第3章

公共施設等の現状と将来見通し

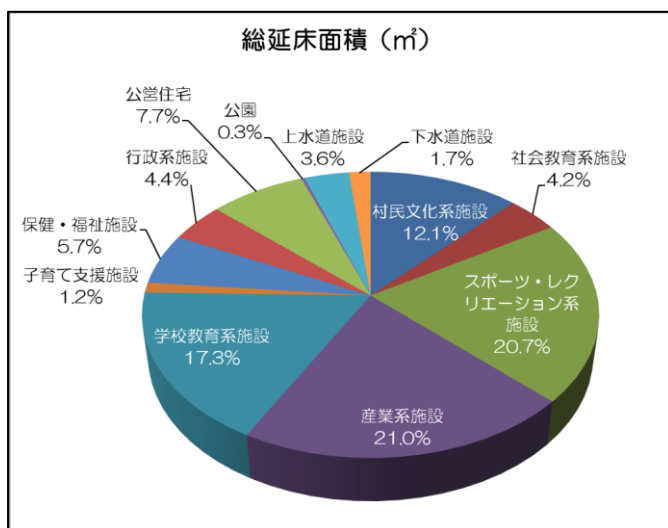
1 対象施設

令和2年度末時点で宜野座村が保有している全施設を対象とします。施設は、村民文化系施設、社会教育系施設、スポーツ・レクリエーション系施設、産業系施設、学校教育系施設、子育て支援施設、保健・福祉施設、行政系施設、公営住宅、公園、上水道施設、下水道施設の12に分類し、整理しました。

2 施設の数量

(1) 用途別の状況

宜野座村における施設の総数は116件となっています。件数では公園が最も多くなっていますが、延床面積の割合では、産業系施設が21.0%と最も多くなっています。



分類	施設数	棟数	総延床面積 (㎡)
村民文化系施設	13	14	14,042
社会教育系施設	4	6	4,809
スポーツ・レクリエーション系施設	14	20	23,998
産業系施設	18	47	24,303
学校教育系施設	5	22	20,060
子育て支援施設	4	8	1,336
保健・福祉施設	5	5	6,653
行政系施設	1	1	5,146
公営住宅	15	50	8,932
公園	24	17	304
上水道施設	8	11	4,183
下水道施設	5	5	1,998
計	116	206	115,765

施設の一覧は以下の通りです。

村民文化系施設	宜野座村立 惣慶地区学習等供用施設	宜野座村立 福山地区学習等供用施設	宜野座村立 城原地区学習等供用施設	宜野座村立 漢那地区学習等供用施設
	漢那多目的交流拠点施設	宜野座村立 松田地区公民館	宜野座村立 惣慶地区公民館	宜野座村立 福山地区農村管理施設
	宜野座地区コミュニティ施設	宜野座村立中央公民館	宜野座村文化センター	松田地区体験交流センター
	福山コミュニティー館			
社会教育系施設	宜野座村国際交流村	宜野座村立博物館	宜野座村城原地区多目的ホール	農民研修センター
スポーツ・レクリエーション系 施設	宜野座村総合グラウンド	宜野座村総合体育館	宜野座村庭球場	宜野座村野球場
	宜野座ドーム	バッティングセンター	かなパークゴルフ場	惣慶区グラウンド
	漢那ダム レクリエーションセンター	宜野座村カヌー艇庫	宜野座区 老人レクリエーションセンター	城原区 老人レクリエーションセンター
	宜野座村観光拠点施設 (リバーパーク)	宜野座村多目的スポーツ施設		
産業系施設	宜野座村堆肥センター	宜野座村オガコ施設	宜野座村畜産センター	宜野座村特産品加工直売センター
	宜野座村高生産性農業機械施設 (リース温室)	宜野座村葉野菜高設栽培施設 (リースハウス)	宜野座村イチゴ栽培施設	宜野座村バインアップル 加工施設
	宜野座村農業後継者等育成センター	宜野座村村緑化振興会	漢那漁港	宜野座漁港
	宜野座村IT産業等集積拠点施設	宜野座村商工会	宜野座村土地改良組合事務所	観光型農園施設
	観光型農園施設(漢那)	作業棟		
学校教育系施設	宜野座村立松田小学校	宜野座村立宜野座小学校	宜野座村立漢那小学校	宜野座村立宜野座中学校
	宜野座村共同調理場			
子育て支援施設	宜野座村立松田幼稚園	宜野座村立宜野座幼稚園	宜野座村立漢那幼稚園	宜野座村立保育所
保健・福祉施設	宜野座村松田福祉住宅	宜野座村保健相談センター	宜野座村障害者福祉センター	宜野座村地域福祉センター
	海洋型健康増進施設			
行政系施設	宜野座村庁舎			
公営住宅	村営松田団地	村営潟原団地	村営宜野座団地	村営宜野座第2団地
	村営宜野座第3団地	村営惣慶団地	村営惣慶第2団地	村営福山団地
	村営福山第2団地	村営福山第3団地	村営漢那団地	村営漢那第2団地
	村営城原団地	村営城原第2団地	村営城原第3団地	
公園	宜野座村農村公園	宜野座村立宜野座近隣公園	宜野座村立宜野座区児童公園	宜野座村立福山児童公園
	宜野座村立城原児童公園	宜野座村立城原近隣公園	宜野座村立松田地区農村広場	宜野座村立惣慶児童公園
	宜野座村立漢那ヨリアゲの森公園	宜野座村立漢那児童公園	宜野座村立惣慶地区農村緑地公園	宜野座村立福山地区農村緑地公園
	宜野座村立松田地区農村公園	宜野座村立城原緑地公園	宜野座村立子どもの交通安全広場	宜野座村立 ヒービー海岸交流広場
	宜野座村立泉川水辺公園	宜野座村立ガンナ川水辺公園	宜野座村立大久保ガー水辺公園	宜野座村立漢那農村公園
	宜野座村立古島公園	宜野座村立松田地区史跡公園	宜野座村立惣慶並松公園	松田高松街区公園
上水道施設	松田浄水場	福山浄水場	潟原取水ポンプ施設	漢那ダム取水ポンプ施設
	漢那ダム導水ポンプ場	宜野座加圧ポンプ場	漢那橋ポンプ場	城原加圧ポンプ場
下水道施設	松田地区クリーンセンター	惣慶地区クリーンセンター	漢那地区クリーンセンター	漢那城原地区クリーンセンター
	漢那地区中継ポンプ場P4			

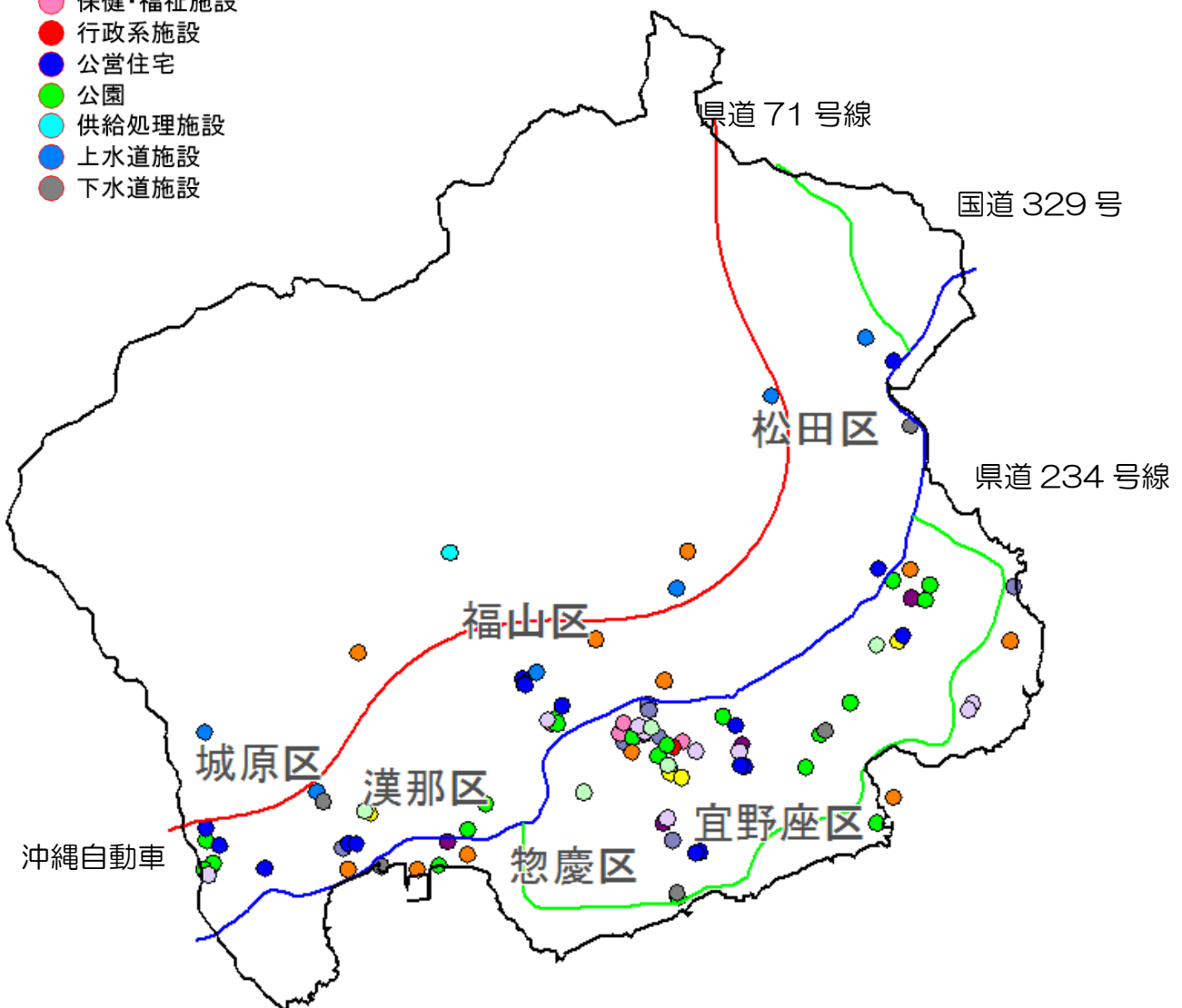
インフラ資産の保有状況については以下の通りです。

分類	総延長等
道路	○村道 総延長：85,471m ○農道 総延長：58,175m
橋梁	○橋梁 35箇所
漁港・港湾	○漁港 2箇所
上水道施設	○導水管 総延長：7,796m ○送水管 総延長：2,731m ○配水管 総延長：81,424m
下水道施設	○管渠 総延長：98,449m

(2) 施設の分布状況

施設の分布状況は以下の通りです。村の中心部である宜野座区に施設が集中していることがわかります。

- 村民文化系施設
- 社会教育系施設
- スポーツ・レクリエーション系施設
- 産業系施設
- 学校教育系施設
- 子育て支援施設
- 保健・福祉施設
- 行政系施設
- 公営住宅
- 公園
- 供給処理施設
- 上水道施設
- 下水道施設



3 保有量の推移

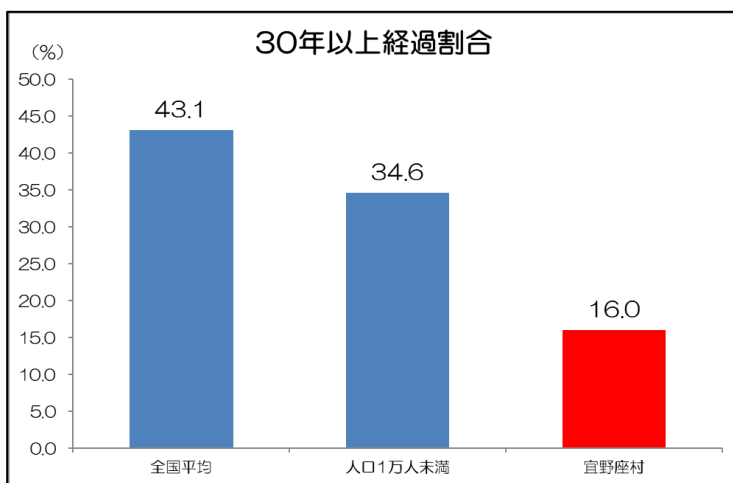
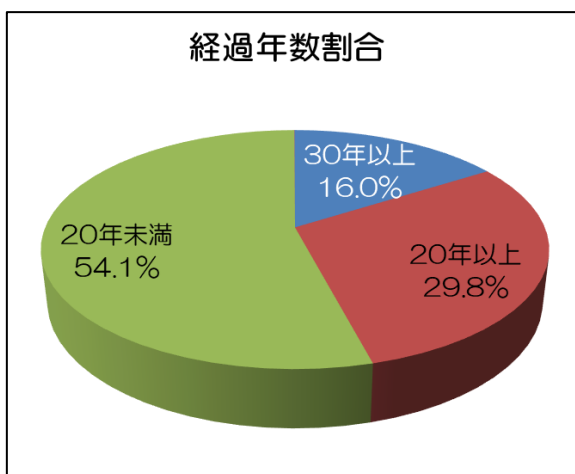
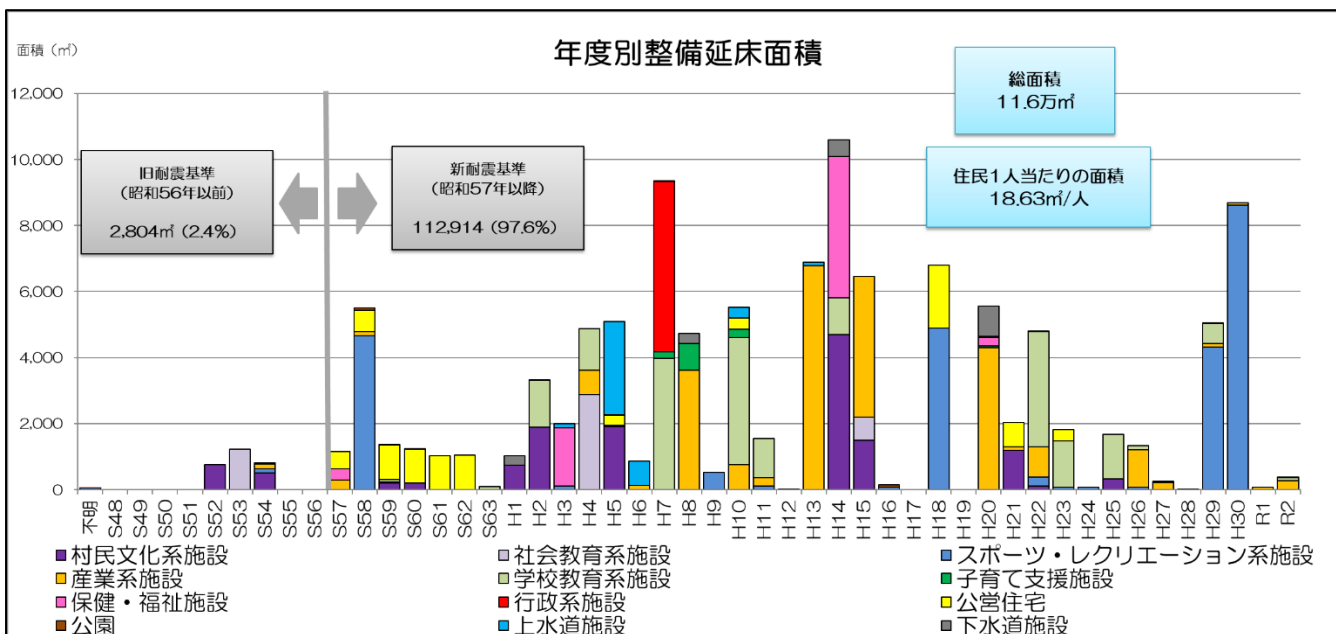
平成29年度末時点と令和2年度末時点での保有資産の総量の変動は以下の通りとなりました。総延床面積が増加した施設分類のうち、スポーツ・レクリエーション系施設は宜野座村観光拠点施設（リバーパーク）と宜野座村多目的スポーツ施設が平成29・30年度に建設しています。上水道施設については、場内面積等の把握による変動となります。延床面積が減少したのは社会教育系施設と公営住宅ですが、いずれも分類の見直しに伴う減少であり、取り壊し等によるものではありません。

分類	平成28年度			令和2年度			変動量		
	施設数	棟数	総延床面積 (㎡)	施設数	棟数	総延床面積 (㎡)	施設数	棟数	総延床面積 (㎡)
村民文化系施設	8	10	12,617	13	14	14,042	5	4	1,425
社会教育系施設	9	11	6,755	4	6	4,809	▲5	▲5	▲1,946
スポーツ・レクリエーション系施設	12	16	11,093	14	20	23,998	2	4	12,905
産業系施設	13	34	23,226	18	47	24,303	5	13	1,078
学校教育系施設	5	25	18,978	5	22	20,060	0	▲3	1,082
子育て支援施設	4	6	1,021	4	8	1,336	0	2	315
保健・福祉施設	4	4	6,405	5	5	6,653	1	1	248
行政系施設	1	1	5,146	1	1	5,146	0	0	0
公営住宅	16	51	9,011	15	50	8,932	▲1	▲1	▲79
公園	23	14	279	24	17	304	1	3	25
上水道施設	8	11	285	8	11	4,183	0	0	3,898
下水道施設	5	5	1,999	5	5	1,998	0	0	0
計	108	188	96,814	116	206	115,765	8	18	18,951

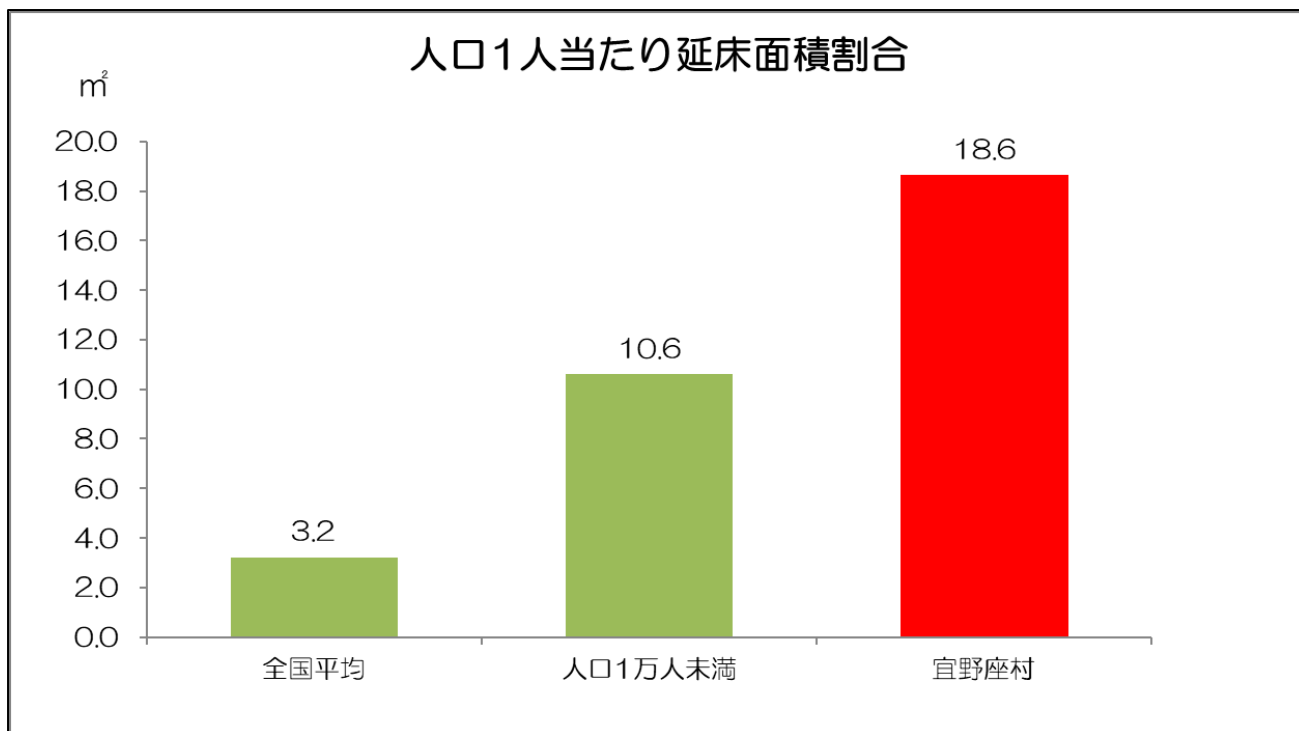
分類		平成28年度	令和2年度	変動値
道路	村道	842,715m	84,921m	▲757,794m
	農道	41,609m	58,175m	16,566m
橋梁	橋梁	35箇所	35箇所	0箇所
漁港・港湾	漁港	2箇所	2箇所	0箇所
上水道施設	導水管	7,796m	7,796m	0m
	送水管	2,731m	2,731m	0m
	配水管	80,720m	81,424m	704m
下水道施設	管渠	67,832m	98,449m	30,617m

4 年度別整備状況

年度別整備延床面積のグラフを見ると、昭和の終わり以降整備された施設が多いことが分かります。建設後30年が経過している建物の割合（延床面積別）は16.0%であり、全国平均や人口1万人未満の市区町村の平均値※と比較しても、老朽化率は比較的低いと言えます。

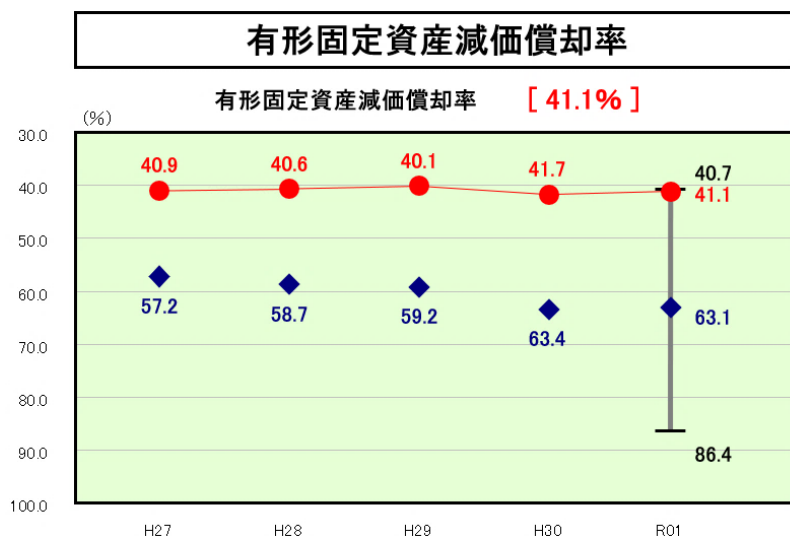


一方で、住民1人当たりの延床面積を見ると、宜野座村は18.6㎡となっており、全国平均の5倍以上となっています。人口1万人未満の市区町村の平均値と比較しても、多いことが分かります。



※公共施設及びインフラ資産の将来更新費用の比較分析に関する調査結果（平成24年3月 総務省自治財政局財務調査課）より

平成28年度より導入している公会計より求められる有形固定資産減価償却率は、保有する資産がどの程度償却が進んでいるかを表したもので、他団体との比較が可能です。令和元年度では類似団体の平均値63.1%に対して、本村は41.1%となっており、保有する公共施設が比較的新しいことがわかります。建設後30年が経過している建物の割合が低いことも大きな要因となっています。



※出典：令和元年度財政状況資料集。

過去に行った対策として、以下の事業等を実施してきました。（※工事単年約5千万円以上のものを抽出）

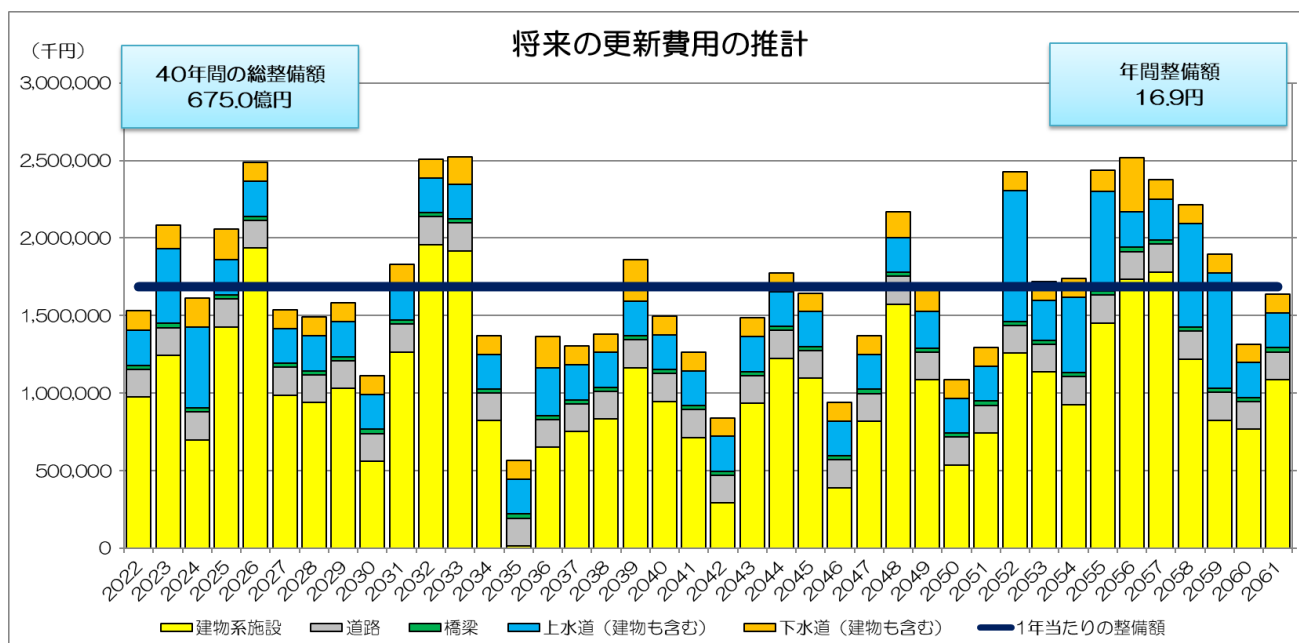
年度	事業名	種別	備考
平成28年度	青雲館事業	解体	
	共同調理場建設事業	建替え	
	リバーパーク整備事業	新設	
	海洋型健康増進施設事業	新設	
	村道中原線道路改良事業	改修	
	農村公園こども広場整備事業	改修	
	松田高松街区公園整備助成事業	改修	
平成29年度	農業用観光施設モデル整備事業	新設	
	宜野座多目的スポーツ施設整備事業	新設	
平成30年度	村道漢那旧国道線道路改築事業	改修	
	村道赤平線道路改良事業	改修	
令和元年度	団体営水質保全対策事業（垣之外地区）	改修	

	農業水路等長寿命化・防災減災事業（鍋川）	改修	
令和2年度	サーバーファーム施設改修事業	新設	
	サーバーファーム機能高度化事業	新設	
	福山区公園整備事業	改修	
	団体営農業基盤整備促進事業（松田地区）	改修	
	いちご狩り体験観光促進事業	新設	
	民生安定施設整備事業（福山進入路外1）	改修	

5 4 将来の更新費用の見通し

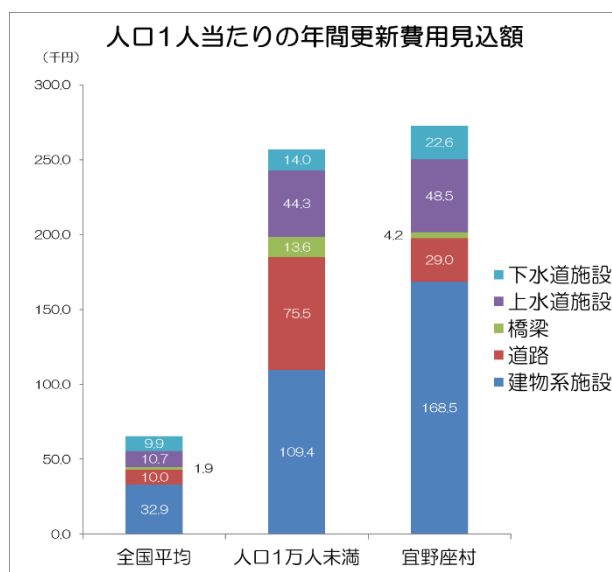
(1) 公共施設の更新費用の試算結果

宜野座村が所有する公共施設について、すべて大規模改修を実施し、現状規模のまま建替えを行った場合、今後40年間で675.0億円の投資的経費を要し、40年間で平均すると、毎年16.9億円かかる試算となりました。



人口1人当たりの年間更新費用見込み額を試算すると、宜野座村では約27.3万円となり、全国平均の約4.2倍となります。人口1万人未満の市町村と比較すると、宜野座村では建物系施設の更新費用が高くなっていますが、道路の更新費用額は安くなっています。

※更新費用の試算にあたっては、総務省の提供する公共施設等更新費用試算ソフト Ver(2.10)を使用



建物系施設の更新費用予測にあたっての試算条件

- 更新費用の推計額
事業費ベースでの計算とする。
一般財源負担見込み額を把握することが困難であるため。
- 計算方法
耐用年数経過後に現在と同じ延べ床面積等で更新すると仮定して計算する。
延床面積×更新単価
- 更新単価
すでに更新費用の試算に取り組んでいる地方公共団体の調査実績、設定単価を基に用途別に設定された単価を使用する。また、建替えに伴う解体、仮移転費用、設計料等については含むものとして想定している。
- 大規模改修単価
建替えの6割と想定し、この想定単価を設定する。
- 耐用年数
標準的な耐用年数とされる60年を採用することとする。
日本建築学会「建物の耐久計画に関する考え方」より
- 大規模改修
建設後30年で行うものとする。
- 地域格差
地域差は考慮しないものとする。
- 経過年数が31年以上50年までのもの
今後10年間で均等に大規模改修を行うものとして計算する。
- 経過年数が51年以上のもの
建替え時期が近いので、大規模改修は行わずに60年を経た年度に建替えるものとして計算する。
- 耐用年数が超過しているもの
今後10年間で均等に更新するものとして計算する。
- 建替え期間
設計、施工と複数年度にわたり費用が掛かることを考慮し、建替え期間を3年間として計算する。
- 修繕期間
設計、施工と複数年度にわたり費用が掛かることを考慮し、修繕期間を2年間として計算する。

総務省公共施設等更新費用試算ソフト Ver(2.10) 更新単価

施設用途	大規模改修	建替え
村民文化系施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡
社会教育系施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡
スポーツ・レクリエーション系施設	20 万円/㎡	36 万円/㎡
産業系施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡
学校教育系施設	17 万円/㎡	33 万円/㎡
子育て支援施設	17 万円/㎡	33 万円/㎡
保健・福祉施設	20 万円/㎡	36 万円/㎡
医療施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡
行政系施設	25 万円/㎡	40 万円/㎡
公営住宅	17 万円/㎡	28 万円/㎡
公園	17 万円/㎡	33 万円/㎡
供給処理施設	20 万円/㎡	36 万円/㎡
その他	20 万円/㎡	36 万円/㎡

(2) インフラ系施設の更新費用予測にあたっての試算条件

道路

- 更新費用の推計額
調査年度から 40 年度分の更新費用を推計する。
- 計算方法
(整備面積÷更新年) × 更新単価
- 更新単価
「道路統計年報 2009」(全国道路利用者会議)で示されている平成 19 年度の舗装補修事業費(決算額)を舗装補修事業量で割って算定されたものから設定する。
- 耐用年数
15 年とし、全整備面積を 15 年で割った面積の舗装部分を毎年度更新する。

橋梁

- 更新費用の推計額
調査年度から40年度分の更新費用を推計する。
- 計算方法
(総面積÷更新年)×更新単価
- 更新単価
「道路統計年報2009」(全国道路利用者会議)で示されている平成19年度の舗装補修事業費(決算額)を舗装補修事業量で割って算定されたものから設定する。
- 耐用年数
法定耐用年数である整備した年度からの60年とする。

上水道

- 更新費用の推計額
調査年度から40年度分の更新費用を推計する。
- 計算方法
管径別総延長×更新単価
- 更新単価
導水管、送水管、配水管に分類し、管径別の単価を算出する。
- 耐用年数
法定耐用年数である整備した年度からの40年とする。

下水道

- 更新費用の推計額
調査年度から40年度分の更新費用を推計する。
- 計算方法
管径別年度別延長×更新単価
- 更新単価
更生工法を前提とし、直接工事費や管径別単価等から設定する。
- 耐用年数
法定耐用年数である整備した年度からの50年とする。

総務省公共施設等更新費用試算ソフト Ver(2.10) 更新単価（インフラ資産）

資産		更新単価	備考	
道路		4,700 円/㎡		
橋梁		448 千円/㎡		
上水道	導水管	100 千円/m	管径 300mm以下	
	送水管	100 千円/m	管径 300mm以下	
	配水管		97 千円/m	管径 50mm以下
			97 千円/m	管径 75mm以下
			97 千円/m	管径 100mm以下
			97 千円/m	管径 150mm以下
			100 千円/m	管径 200mm以下
			103 千円/m	管径 250mm以下
			106 千円/m	管径 300mm以下
下水道		61 千円/m	管径 250mm以下	

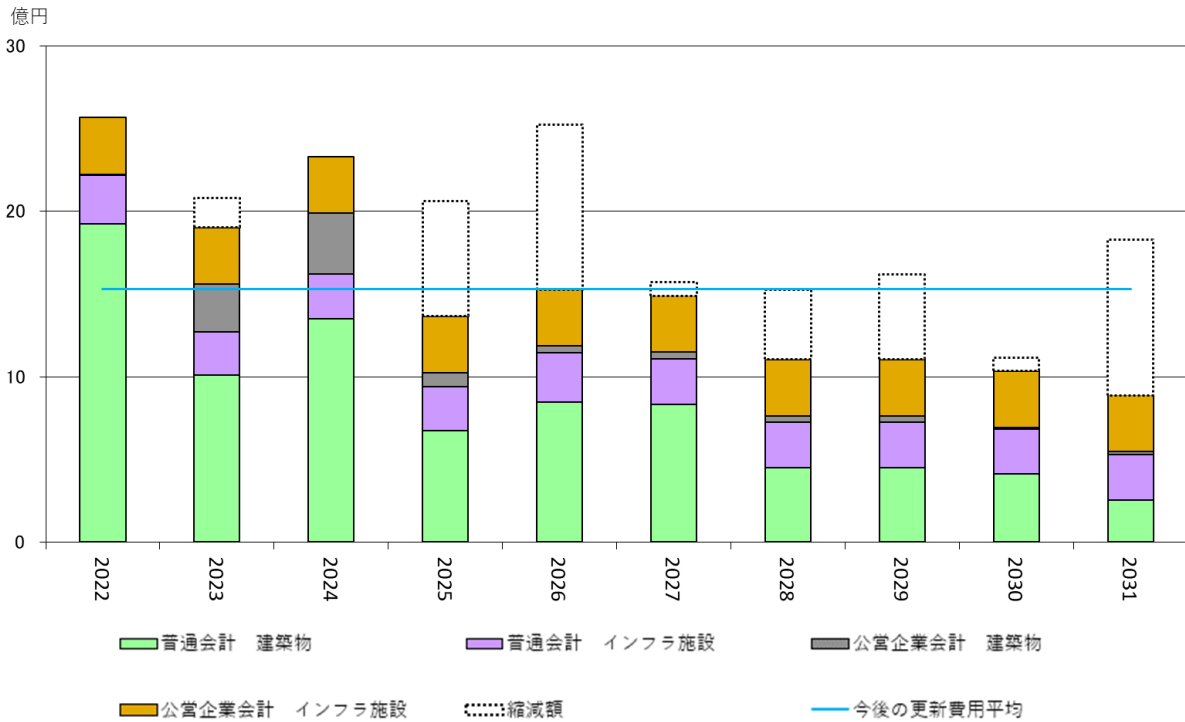
(3) 個別施設計画等による効果額

(1)の公共施設等の更新費用試算結果ではすべての施設を維持することを仮定した場合の将来見通しです。順次策定した個別施設計画では長寿命化や廃止等の施設の方針を定め、それに基づいた予定事業内容や時期、概算費用を取りまとめています。各種個別計画に定められた事業費や見込まれる事業費等を今後10年間について取りまとめました。ただし、事業費見込みが10年未満の場合は、同規模の整備を継続していくものと仮定し、1年当たりの平均額で試算するものとしています。

分類	計画書
建物系施設	宜野座村サーバーファーム更改計画
	宜野座村学校施設長寿命化基本計画
	宜野座村公営住宅長寿命化計画
	宜野座村個別施設計画
インフラ施設	橋梁長寿命化修繕計画

※一覧にない場合は単純推計の値を入力

各種個別計画等において、今後の施設の方針や劣化状況等により優先順位を定め必要な改修等を整理した結果、今後10年間で154億円、1年当たり15億円かかる見込みとなりました。



【2022年度から10年間】

今後10年間の公共施設等の維持管理・更新等に係る経費の見込み

(百万円)

		維持管理・ 修繕(①)	改修 (②)	更新等 (③)	合計(④) (①+②+③)	財源見込み	耐用年数経過時に 単純更新した場合 (⑤)	長寿命化対策等の 効果額(④-⑤)	現在要している経費 (過去5年平均)
普通会計	建築物(a)	3,098	1,621	3,598	8,317	特例債・基地再編交付金等	11,061	-2,744	1,633
	インフラ施設(b)	2,751	0	0	2,751		2,051	700	
計(a+b)		5,849	1,621	3,598	11,068		13,111	-2,043	
公営企業会計	建築物(c)	0	938	0	938	特例債・公営企業債等	938	0	188
	インフラ施設(d)	3,421	0	0	3,421		3,421	0	
計(c+d)		3,421	938	0	4,359		4,359	0	
建築物計(a+c)		3,098	2,559	3,598	9,255		11,998	-2,743	1,821
インフラ施設(b+d)		6,172	0	0	6,172		5,472	700	
合計(a+b+c+d)		9,270	2,559	3,598	15,427		17,470	-2,043	1,821

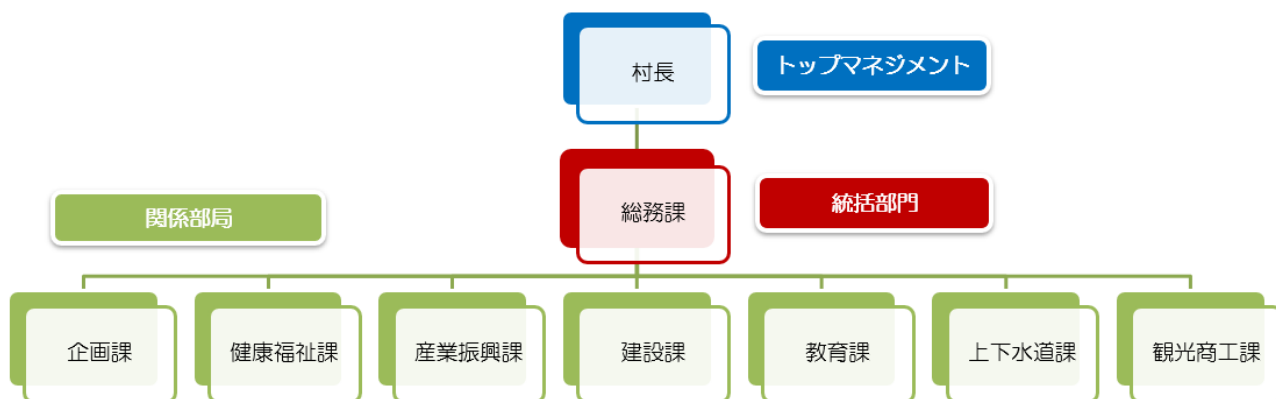
第4章

推進体制

1 推進体制

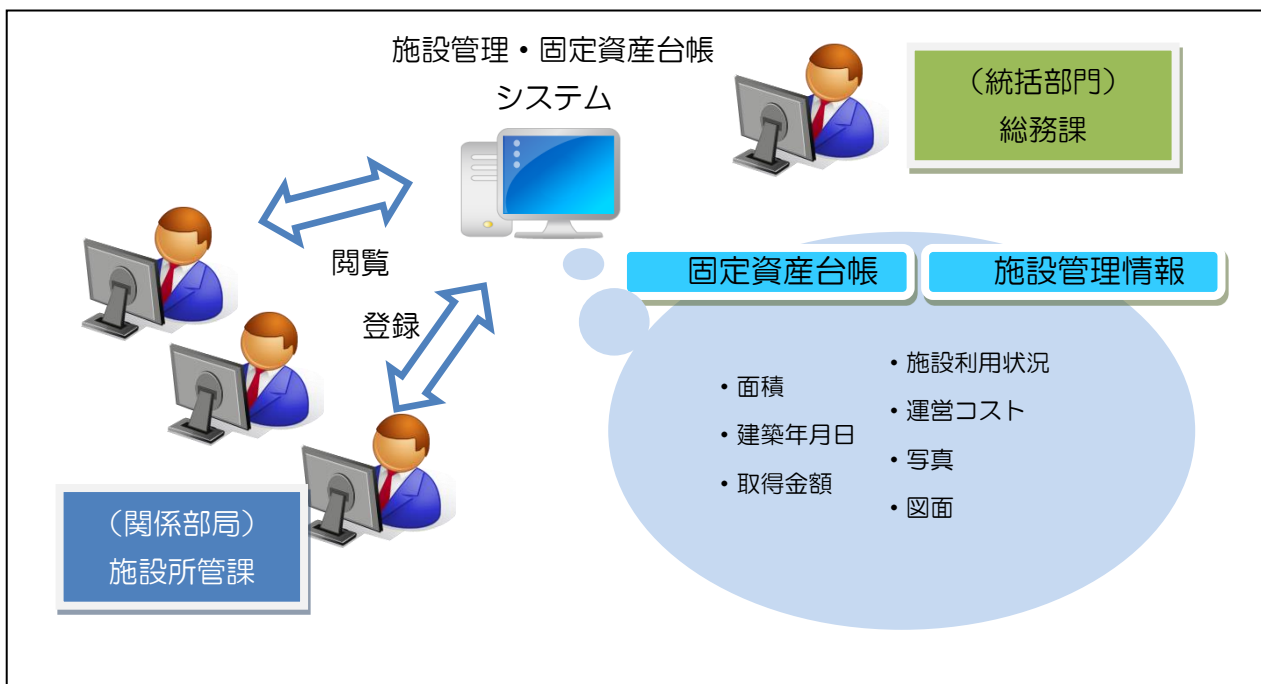
(1) 全庁的な取り組み体制

トップマネジメントを村長とし、総務課を計画策定および推進管理統括部門とします。各施設については各部局（各課）で管理を行います。



(2) 情報管理・共有方策

各部局の保有する施設情報について一元管理を行い、効率的な維持管理を推進する目的で、総務課で導入している庁内の施設管理・固定資産台帳システムを活用し、関係部局と連携をとりながら推進を図ります。



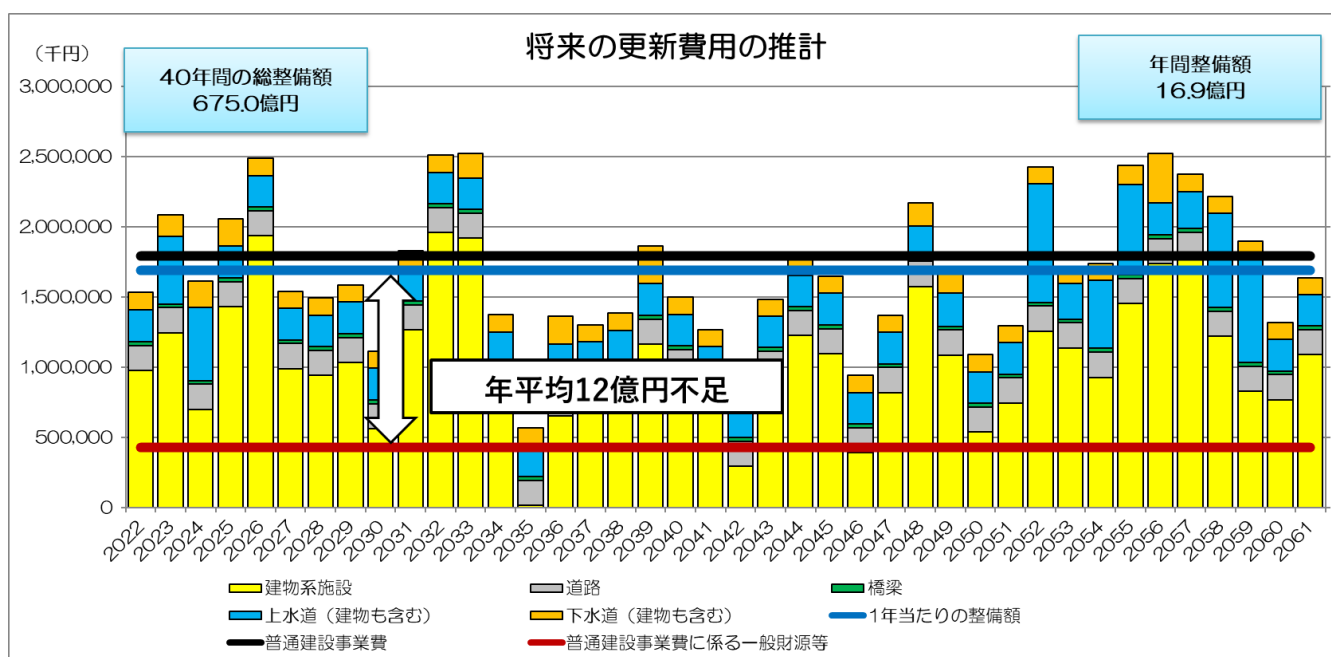
第5章

基本方針

1 基本方針

普通建設事業費（施設更新に係る費用）の過去10年間の平均額は約16.0億円（P11参照）となっています。また、水道事業特別会計や下水道事業特別会計などの建設改良費を加えると17.9億円となり、年間更新費用の16.9億円（P19参照）と比較すると財政面でも余力があるように感じられます。

しかし、施設更新に係る費用は基本的に一般財源で賄う必要があります。過去10年の普通建設事業費の財源内訳は一般財源が3.7億円（P11参照）、特別会計の単独事業費分を加えると4.3億円となっていますので、年間整備額16.9億円と比較すると、12.6億円不足の見込みとなります。そこで、（1）基金の積み立て（2）既存施設の活用（3）予防保全型管理を行い、更新費用の抑制や財政の標準化に努めます。

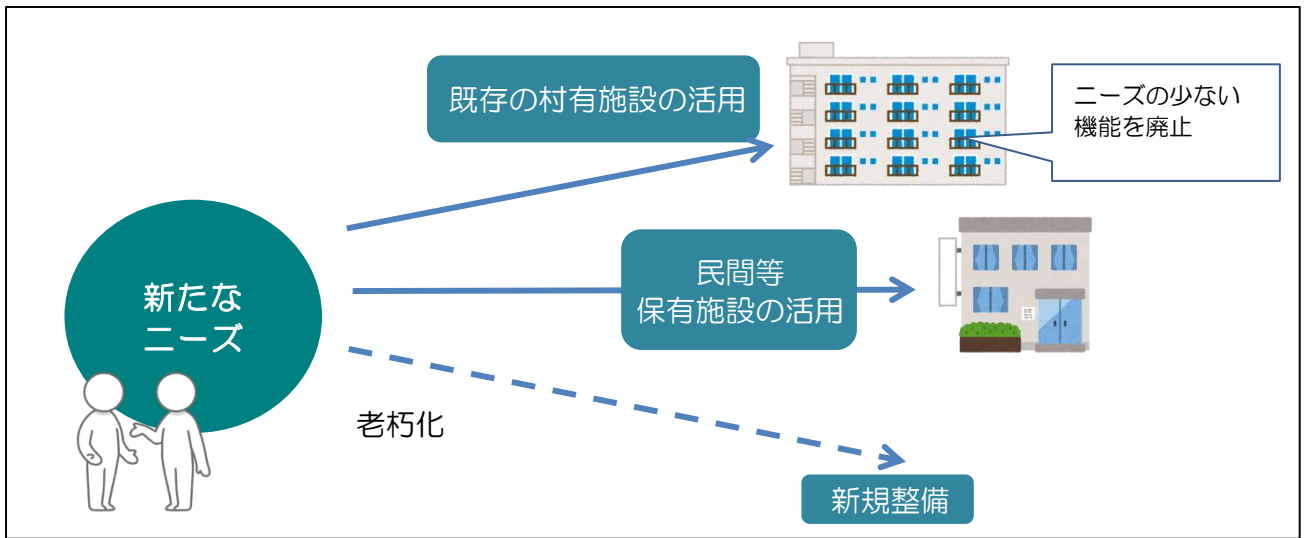


（1）基金の積み立て

本村では基地再編交付金を活用し、宜野座村 IT 産業等集積拠点施設や宜野座村立共同調理場を含め、公共施設の整備や修繕を行ってきました。現在実施されている宜野座村ふれあい交流センター整備事業にも、これまで基金として積み立ててきた再編交付金が充当されます。しかし、基地再編交付金は時限付の交付金となっていますので、今後はこの費用を捻出する必要があります。そこで、施設更新費用として最低でも普通建設事業費の一般財源分を積み立て、財源の捻出を行います。

(2) 既存施設の活用

数十年後の建物の更新費用を考慮し、原則として、施設を増やすのではなく、既存建物の長寿命化を図り、施設の維持・更新に係る費用を削減するとともに、既存建物の有効活用を行います。



施設の老朽化に伴う建替えを実施する場合は、一棟の建物に複数の機能を盛り込む「複合化」によって、村民ニーズの変化に適切に対応することも検討します。さらに、住民からの要望、財政状況等も踏まえ、新設を行う場合は、特定の用途のみにしか使用できない建物ではなく、柔軟に「用途（機能）転用」が行える建物の新設を検討します。

	事業実施前	事業実施後	説明
集約化事業	 公民館A (延床面積:200) 公民館B (延床面積:200)	 廃止 集約化後施設 (延床面積:350)	既存の同種の公共施設を統合し、一体の施設として整備する
複合化事業	 保育所 (延床面積:200) 高齢者施設 (延床面積:200)	 廃止 複合施設 (延床面積:350)	既存の異なる種類の公共施設を統合し、これらの施設の機能を有した複合施設を整備する。
転用事業	 学校	 高齢者施設	既存の公共施設を改修し、他の施設として利用する

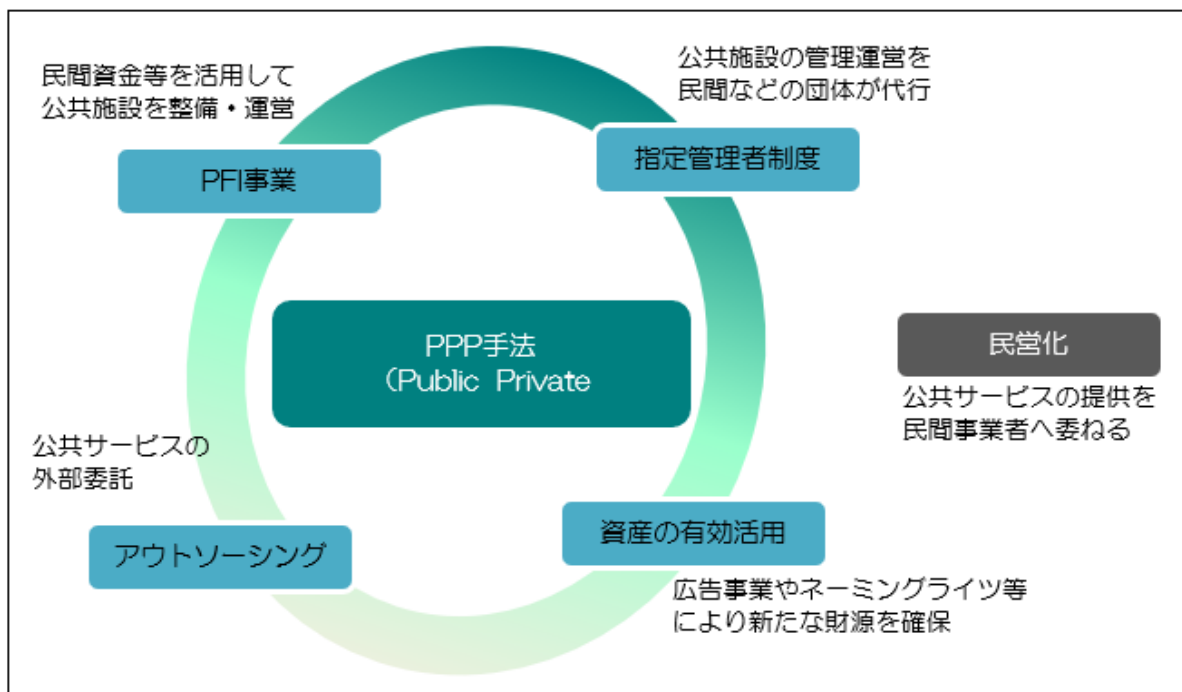
公平性に基づく受益者負担の適正化

公共施設の維持管理などに要する経費（コスト）は、自治体の税などの一般財源と施設利用者による受益の対価（使用料等）から賄われています。公共施設の使用料などは、公共施設を利用する人としらない人との公平性を考慮して施設利用者には公平で適正な負担を求めることが重要と考えられるため、施設の修繕費用を捻出するためにも利用実態に合わせて必要に応じ、使用料などを見直します。

PPP/PFIの活用について

使用料等の施設収入と比較し、施設運営費が高コストとなる場合は、民間への施設運営を積極的に推進し、施設運営費用の削減を行います。

現在、民間または行政区への指定管理者制度を行っている施設は50施設あります。

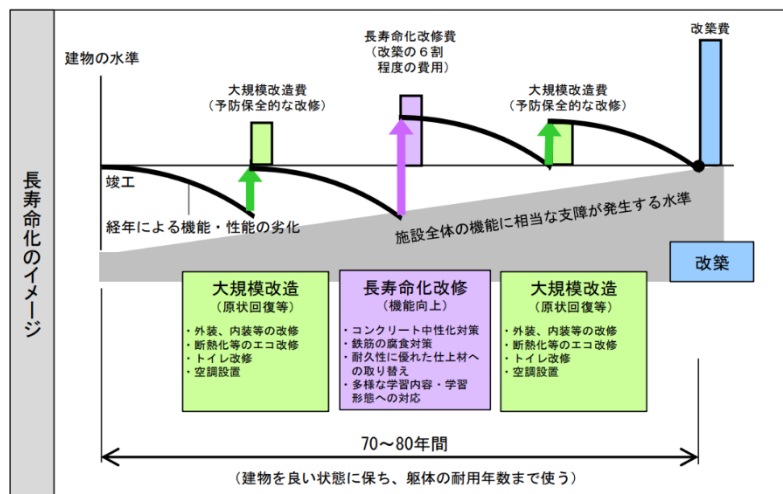
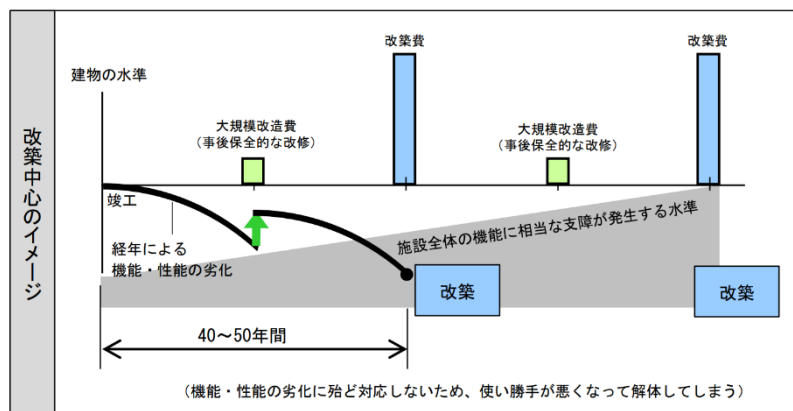


(3) 長寿命化の実施方針

診断と改善に重点を置いた総合的かつ計画的な管理に基づいた予防保全によって、公共施設等の長期使用を図ります。予防保全とは、原状回復を行うために、耐用年数を経過する建物附属設備（電気設備、空調設備等）の更新、トイレ改修等のほか、躯体に影響を与える前に外壁塗装や屋上防水の延命化対策を実施することです。大規模改修では機能を向上させるために、耐用年数を迎える建物附属設備の更新に加え、コンクリート中性化対策、鉄筋の腐食対策、耐久性に優れた仕上材への取り替えなど、建物の耐久性や機能・性能の向上を行います。（平成27年4月学校施設の長寿命化計画策定に係る手引き 文科省 参考）

大規模改修、建替え等の実施にあたっては、緊急性・重要性等を踏まえて実施時期の調整を行うことにより、財政負担の平準化を図ります。

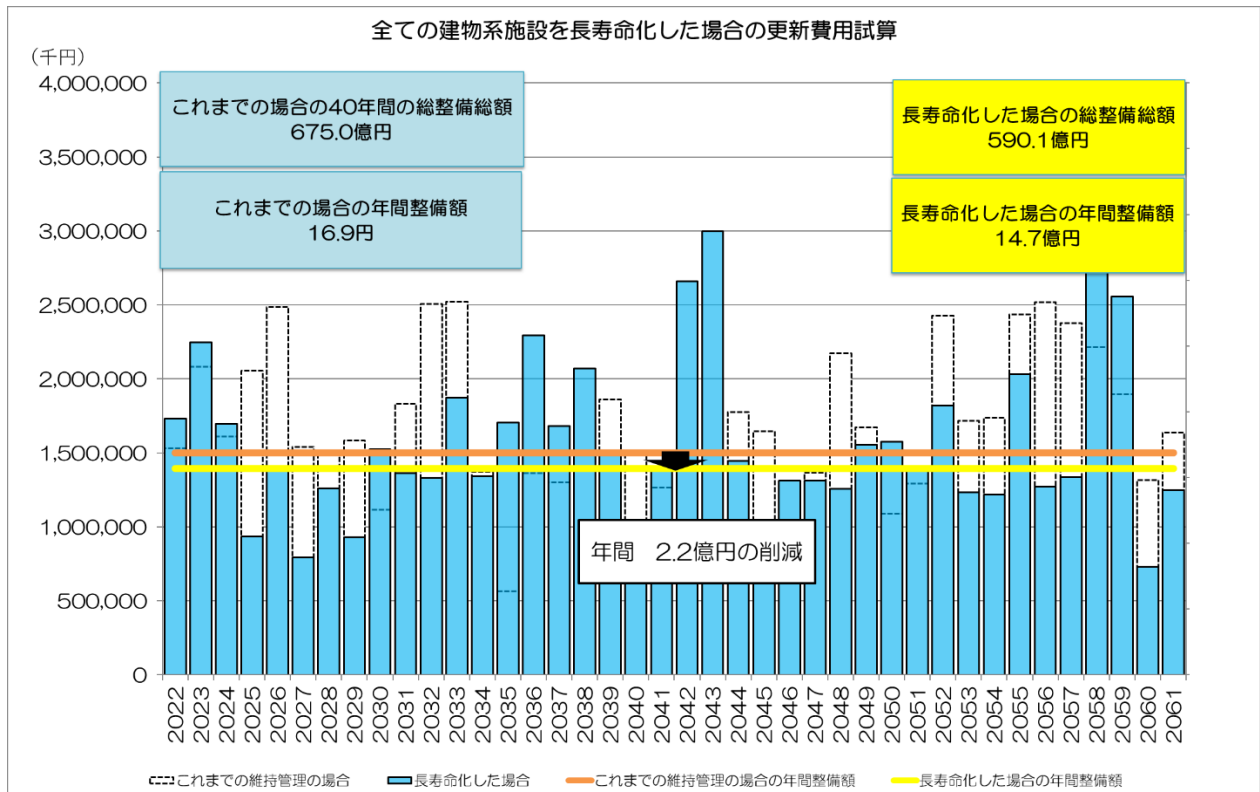
改築中心から長寿命化への転換イメージ



資料：文部科学省「長寿命化計画策定に係る解説書」平成29年3月

宜野座村の公共施設では、建替え周期は大規模改修工事を経て60年とし、その時点で診断を行い更に、使用が可能であれば長寿命改修工事を行って80年まで長期使用しコストを削減することも検討します。

仮に現在所有している建物系施設を全て長寿命化を実施し、80年間使用すると仮定し更新費用の試算を行うと総額が590.1億円となり、84.9億円の削減が可能となります。



点検・診断等の実施方針

建物の劣化及び機能低下を早期発見するための、点検項目・点検頻度等について検討し、マニュアル等の整備を行います。

委託契約により実施している保守・点検・整備について、委託契約どおりに実施されているかどうか委託先から確実に報告を受け実態を把握します。

点検・診断結果については、その結果を記録・蓄積して老朽化対策等に活用します。

(参考資料) 公共施設診断の対象となる評価項目例

評価項目	評価内容
安全性	・敷地安全性(耐災害)、建物耐震・耐風・耐雪・耐雨・耐落雷安全性、防火安全性、事故防止性、防犯性、空気質・水質安全性
耐久性	・建物部位(構造・外装など)の耐久性・劣化状況
不具合性	・施設各部位(構造・仕上・付帯設備・建築設備)の不具合性
快適性	・施設快適性(室内環境・設備)、立地利便性
環境負荷性	・施設の環境負荷性(省エネ、有害物質除去など)
社会性	・地域のまちづくりとの調和、ユニバーサルデザイン(バリアフリー化)
耐用性	・経過年数と耐用年数、変化に対する追従性、計画的な保全・大規模改修
保全性	・維持容易性、運営容易性、定期検査の履行
適法性	・建築法規、消防法、条例
情報管理の妥当性	・情報収集、情報管理、情報利活用
体制・組織の妥当性	・統括管理体制、管理体制、トップマネジメントへの直属性
顧客満足度	・顧客満足度、職員満足度
施設充足率	・地域別施設数量の適正性、用途別施設数量適正性、余剰スペース
供給水準の適正性	・供給数量適正性(敷地面積、建物面積など)
施設利用度	・施設利用率、空室率
点検・保守・改修コストの適正性	・点検・保守費、清掃費、警備費、改修費・大規模改修費、更新費
運用コストの適正性・平準化	・運用費、水道光熱費
ライフサイクルコストの適正性	・ライフサイクルコスト

(出展: FM 評価手法・JFMES13 マニュアル(試行版))

2 安全確保の実施方針

施設の安全性について、高い危険性が認められた公共施設は利用禁止等の処置を行い、利用者の安全確保を図ります。用途廃止され、利用される見込みのない施設については、速やかに除却・売却等の検討を行います。

3 耐震化の実施方針

下記の施設は昭和56年度以前の旧耐震基準の下で整備された主な施設となります。これらの施設は耐震化診断を行い、診断結果に基づいて耐震改修工事を含めた更新を計画的に実施します。

施設名	建築年度	備考
宜野座村立中央公民館	S52	複合化予定
宜野座村立 惣慶地区学習等供用施設	S54	

4 ユニバーサルデザインの推進

公共施設等の改修・更新等の際には、村民ニーズを踏まえながら、利用者の性別、年齢、国籍、障がいの有無にかかわらず、快適に施設を利用できるようユニバーサルデザインを推進します。

第6章

施設類型毎の基本方針

施設類型毎における現在の状況や今後の方針について取りまとめています。

1 建物系施設

(1) 村民文化系施設

財産番号	整理番号	施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年度		経過年数	方針	担当課
						和暦	西暦			
510	1	宜野座村立 惣慶地区学習等供用施設	学習供用施設	鉄筋コンクリート	505	S54	1979	41	修繕	教育課
87	1	宜野座村立 福山地区学習等供用施設	学習供用施設	鉄筋コンクリート	206	S59	1984	36	修繕	教育課
67	1	宜野座村立 城原地区学習等供用施設	学習供用施設	鉄筋コンクリート	198	S60	1985	35	修繕	教育課
523	1	宜野座村立 漢那地区学習等供用施設	学習等供用施設	鉄筋コンクリート	744	S64	1989	31	修繕	教育課
70	1	漢那多目的交流拠点施設	公民館事務所	鉄筋コンクリート	1,189	H21	2009	11	長寿命化	企画課
81	1	宜野座村立 松田地区公民館	公民館事務所	鉄筋コンクリート	1,916	H5	1993	27	修繕	教育課
82	1	宜野座村立 惣慶地区公民館	公民館事務所	鉄筋コンクリート	1,892	H2	1990	30	修繕	教育課
83	1	宜野座村立 福山地区農村管理施設	公民館事務所	鉄筋コンクリート	434	H14	2002	18	修繕	教育課
73	1	宜野座地区コミュニティ施設	公民館事務所	鉄筋コンクリート	1,499	H15	2003	17	修繕	教育課
80	1	宜野座村立中央公民館	公民館	鉄筋コンクリート	697	S52	1977	43	複合化	教育課
80	2		機械室(棟)	鉄筋コンクリート	59	S52	1977	43	複合化	
72	1	宜野座村文化センター	宜野座村文化センター	鉄筋コンクリート	4,261	H14	2002	18	長寿命化	観光商工課
498	1	松田地区体験交流センター	松田地区体験交流センター	鉄筋コンクリート	324	H25	2013	7	修繕	観光商工課
499	1	福山コミュニティー館	福山コミュニティー館	鉄筋コンクリート	118	H22	2010	10	修繕	企画課

※経過年数については令和2年度末時点

現状	今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> • 地区の公民館は各地区へ指定管理を行っており、施設の維持管理は各区が実施しています。 • 宜野座村中央公民館は老朽化が進行しており、建替えが必要なため、建替え費用の積立を行っています。 • 宜野座村文化センターは建設後、13年が経過しているため、空調施設や電気施設の修繕が必要となっています。施設の点検は専門業者に委託し、実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> • 指定管理者制度を実施している施設は、点検や修繕を指定管理者へ委託していますが、村としても点検内容や頻度について把握を行い、安全管理に努めます。 • 宜野座村中央公民館の建替え事業に係る設計を平成29年度に着手します。 • 宜野座村福山農村管理施設の管理事務所が老朽化が進行しているため、施設の更新を検討します。

(2) 社会教育系施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年度		経過年数	方針	担当課
				和暦	西暦			
宜野座村国際交流村	国際交流センター	鉄筋コンクリート	1,497	H4	1992	28	複合化	総務課
	国際交流センター	鉄筋コンクリート	77	H4	1992	28	複合化	
	便所	鉄筋コンクリート	45	H4	1992	28	複合化	
宜野座村立博物館	博物館	鉄筋コンクリート	1,264	H4	1992	28	修繕	教育課
宜野座村城原地区多目的ホール	公民館	鉄筋コンクリート	695	H15	2003	17	複合化	教育課
農民研修センター	農民研修センター	鉄筋コンクリート	1,230	S53	1978	42	修繕	教育課

※経過年数については令和2年度末時点

現状	今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> 各地区の学習等供用施設や城原地区多目的ホールは指定管理者である各区が施設の管理を行っています。 宜野座村国際交流村は平成4年度に整備されましたが、現在使用されていない状況となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度を実施している施設は、点検や修繕を指定管理者へ委託していますが、村としても点検内容や頻度について把握を行い、修繕時期の把握や修繕費用の確保に努めます。 宜野座村国際交流村については、使用されていないため、施設の取壊しや譲与の検討をします。

(3) スポーツ・レクリエーション系施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年度		経過年数	方針	担当課
				和暦	西暦			
宜野座村総合グラウンド	管理事務所	鉄筋コンクリート	113	S54	1979	41	修繕	教育課
	公衆浴場、便所	鉄筋コンクリート	18	S54	1979	41	修繕	教育課
宜野座村総合体育館	体育館	鉄筋コンクリート	4,653	S58	1983	37	修繕	教育課
宜野座村庭球場	管理事務所	鉄筋コンクリート	28	S59	1984	36	修繕	教育課
宜野座村野球場	管理棟	鉄筋コンクリート	264	H9	1997	23	修繕	教育課
	便所	鉄筋コンクリート	28	H9	1997	23	修繕	
	観覧場 (屋外便所スコアボード込み)	鉄筋コンクリート	230	H9	1997	23	修繕	
宜野座ドーム	多目的広場	鉄骨鉄筋コンクリート	4,893	H18	2006	14	修繕	教育課
バッティングセンター	バッティングセンター	鉄骨造	81	H26	2014	6	修繕	教育課
かなパークゴルフ場	管理棟	鉄筋コンクリート	75	H24	2012	8	修繕	観光商工課
惣慶区グラウンド	管理棟	鉄筋コンクリート	47	不明	不明	不明	修繕	教育課
漢那ダム レクリエーションセンター	レクリエーションセンター	鉄骨造	73	H16	2004	16	修繕	観光商工課
宜野座村カヌー艇庫	宜野座村カヌー艇庫	鉄骨造	260	H22	2010	10	-	観光商工課
	カヌー備品倉庫	鉄骨造	81	H23	2011	9	-	
宜野座区 老人レクリエーションセンター	老人レクリエーションセンター	鉄筋コンクリート	111	H3	1991	29	修繕	健康福祉課
城原区 老人レクリエーションセンター	老人レクリエーションセンター	鉄骨鉄筋コンクリート	104	H11	1999	21	建替え	健康福祉課
宜野座村観光拠点施設 (リバーパーク)	観光拠点施設	鉄筋コンクリート	2,335	H29	2017	3	修繕	観光商工課
	屋外トイレ	鉄筋コンクリート	94	H29	2017	3	修繕	
	カヌー庫	鉄筋コンクリート	1,890	H29	2017	3	修繕	
宜野座村多目的スポーツ施設	宜野座村多目的スポーツ施設	鉄筋コンクリート	8,623	H30	2018	2	修繕	教育課

※経過年数については令和2年度末時点

現状	今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> • 宜野座区老人レクリエーションセンター、城原区老人レクリエーションは指定管理者制度を実施し、宜野座区、城原区がそれぞれ管理を行っています。 • 宜野座地区老人レクリエーションセンターの主な利用者は老人会のため、施設のバリアフリー化が課題となっています。雨漏りやトイレの故障、玄関前の階段のレンガが剥がれるなど、施設の老朽化が進んでいます。 • 城原区老人レクリエーションセンターは、老人会を含めて各種団体が利用していますが、冷房の効果が低い構造となっているため、夏場は室内が高温となります。また、窓枠付近の外壁が腐食し、錆も生じています。 • スポーツ施設の点検は、職員の巡回によって実施しています。 • 宜野座ドームは建設後10年ですが、毎年の修繕が必要となっています。また、野球場の掲示板についても老朽化に伴う修繕が必要となっています。 • カヌー艇庫は競技者が合宿のため、利用することもあります。 • 漢那ダムレクリエーションセンターは現在、倉庫として利用されています。 	<ul style="list-style-type: none"> • 城原区老人レクリエーション施設は、断熱工事や外壁工事の実施を検討します。多目的ホールが隣接していることから、耐用年数経過後は建替えではなく、廃止の検討も行う必要があります。 • スポーツ施設については、施設運営を民間企業へ委託することを検討します。 • 庭球場は現在の利用状況等から、廃止の検討を行います。 • 平成30年度に、ブルペン設備やバスケットボール設備、ボルダリング設備を備えた多目的スポーツ施設の整備予定です。 • 漢那ダムレクリエーションセンターは耐用年数が経過後の更新は、廃止も考慮する必要があります。

(4) 学校教育系施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年度		経過年数	方針	担当課
				和暦	西暦			
松田小学校	普通教室棟	鉄筋コンクリート	919	H25	2013	7	長寿命化	教育課
	特別教室棟	鉄筋コンクリート	1,259	H4	1992	28	長寿命化	
	管理室棟	鉄筋コンクリート	435	H25	2013	7	長寿命化	
	屋内運動場	鉄筋コンクリート	1,106	H14	2002	18	長寿命化	
	プール専用付属室	鉄筋コンクリート	79	S59	1984	36	長寿命化	
	倉庫	鉄筋コンクリート	27	H12	2000	20	長寿命化	
宜野座小学校	プール専用付属室	鉄筋コンクリート	92	S63	1988	32	長寿命化	教育課
	小学校校舎	鉄筋コンクリート	3,559	H10	1998	22	長寿命化	
	屋内運動場	鉄筋コンクリート	1,179	H11	1999	21	長寿命化	
	倉庫	鉄筋コンクリート	14	H11	1999	21	長寿命化	
	校舎(増築分)	鉄筋コンクリート	117	H26	2014	6	長寿命化	
	校舎(R2年度増築分)	鉄筋コンクリート	92	R2	2020	0	長寿命化	
漢那小学校	小学校校舎	鉄筋コンクリート	2,107	H7	1995	25	長寿命化	教育課
	特別教室棟	鉄筋コンクリート	678	H7	1995	25	長寿命化	
	屋内運動場	鉄筋コンクリート	1,036	H7	1995	25	長寿命化	
	プール専用付属室	鉄筋コンクリート	124	H7	1995	25	長寿命化	
	屋外便所・倉庫	鉄筋コンクリート	35	H7	1995	25	長寿命化	
宜野座中学校	屋内運動場	鉄筋コンクリート	1,422	H2	1990	30	長寿命化	教育課
	部室	鉄筋コンクリート	288	H10	1998	22	長寿命化	
	管理・普通教室棟	鉄筋コンクリート	3,483	H22	2010	10	長寿命化	
	特別教室棟	鉄筋コンクリート	1,392	H23	2011	9	長寿命化	
宜野座村共同調理場	共同調理場	鉄筋コンクリート	619	H29	2017	3	長寿命化	教育課

現状	今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> • 学校施設の点検は学校施設状況調査に基づいて実施しています。 • 宜野座小学校と漢那小学校は児童数の増加によって、特別教室を普通教室として使用しています。 • 各小学校のプールが老朽化が進んでいるため、修繕を行う必要があります。 • 共同調理場が老朽化のため、平成28年度に宜野座中学校施設内へ建替えを実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> • 今後の生徒数の把握を行い、増築や仮校舎の設置等の検討し、各学校の教室の確保に努めます。 • 旧共同調理場は取壊しを実施予定です。

(5) 産業系施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年度		経過年数	方針	担当課
				和暦	西暦			
宜野座村堆肥センター	堆肥化施設	鉄骨造	2,950	H15	2003	17	修繕	産業振興課
	管理棟	鉄骨造	67	H15	2003	17	修繕	
	堆肥施設	鉄骨造	340	H15	2003	17	修繕	
	水処理施設機械室	鉄骨造	131	H15	2003	17	修繕	
	原料置場1	鉄骨造	725	H15	2003	17	修繕	
	フロー室①	鉄骨造	25	H15	2003	17	修繕	
	フロー室②	鉄骨造	25	H15	2003	17	修繕	
宜野座村オガコ施設	オガコ施設	鉄骨造	1,012	H26	2014	6	修繕	産業振興課
	バイオベース施設	鉄骨造	115	H26	2014	6	修繕	
宜野座村畜産センター	畜舎	鉄骨造	2,939	H8	1996	24	修繕	産業振興課
	堆肥舎	鉄骨造	200	H8	1996	24	修繕	
	看視舎	コンクリートブロック	50	H8	1996	24	修繕	
	飼料調整室	鉄骨造	260	H8	1996	24	修繕	
	農具庫	鉄骨造	63	H8	1996	24	修繕	
	オガコ保管庫	鉄骨造	80	H8	1996	24	修繕	
	給水施設	コンクリートブロック	30	H8	1996	24	修繕	
宜野座村特産品加工直売センター	農産品加工直売センター	鉄筋コンクリート	760	H10	1998	22	修繕	観光商工課
	農産物販売所 (テナント・トイレ)	鉄筋コンクリート	252	H22	2010	10	修繕	
	食材供給施設	鉄筋コンクリート	72	H11	1999	21	修繕	
宜野座村高生産性農業機械施設 (リース温室)	ビニールハウス		9,864	H16	2004	16	-	産業振興課
宜野座村葉野菜高設栽培施設 (リースハウス)	平張施設		4,032	H22	2010	10	-	産業振興課
宜野座村イチゴ栽培施設	農作業倉庫	鉄骨造	99	H22	2010	10	修繕	産業振興課
	強化型パイプハウス		4,050	H22	2010	10	-	
宜野座村パインアップル 加工施設	パインアップル加工所	鉄筋コンクリート	99	H21	2009	11	廃止	産業振興課
宜野座村 農業後継者等育成センター	管理棟	鉄筋コンクリート	51	H11	1999	21	複合化	産業振興課
	格納庫	軽量鉄骨造	89	H11	1999	21	複合化	
	出荷施設	鉄筋コンクリート	45	H11	1999	21	複合化	
	農業後継者育成センター	鉄筋コンクリート	223	H27	2015	5	集約化	
宜野座村村緑化振興会	管理棟	鉄筋コンクリート	129	S58	1983	37	修繕	産業振興課

※ハウス施設については、施設の数(13P)や将来の更新費用推計(19P)には試算
されていません。

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年度		経過年数	方針	担当課
				和暦	西暦			
漢那漁港	漁具倉庫	鉄筋コンクリート	563	H4	1992	28	建替え	産業振興課
	漢那漁港巻揚げ施設	鉄筋コンクリート	10	H5	1993	27	建替え	
	漢那漁港給油施設	鉄筋コンクリート	15	H5	1993	27	修繕	
	荷捌施設	鉄筋コンクリート	170	H4	1992	28	建替え	
	宜野座村漁村漁民活性化施設	鉄筋コンクリート	567	H22	2010	10	修繕	
	製氷施設	鉄骨鉄筋コンクリート	119	H6	1994	26	修繕	
宜野座漁港	荷捌施設	鉄筋コンクリート	200	H20	2008	12	建替え	産業振興課
宜野座村IT産業等集積拠点施設	宜野座村第1サーバーファーム	鉄筋コンクリート	6,637	H13	2001	19	長寿命化	企画課
	宜野座村第2サーバーファーム	鉄筋コンクリート	4,103	H20	2008	12	長寿命化	
	発電機室	鉄筋コンクリート	150	H13	2001	19	長寿命化	
宜野座村商工会	商工会事務所	鉄筋コンクリート	281	S57	1982	38	建替え	観光商工課
	自転車置場	鉄骨造	9	S57	1982	38	建替え	
宜野座村土地改良組合事務所	宜野座村土地改良組合事務所	鉄筋コンクリート	134	S54	1979	41	修繕	産業振興課
観光型農園施設	作業棟①	軽量鉄骨造	57	H29	2017	3	修繕	産業振興課
	作業棟②	軽量鉄骨造	49	H29	2017	3	修繕	
	作業棟③	軽量鉄骨造	68	H30	2018	2	修繕	
観光型農園施設（漢那）	プレハブ作業棟	軽量鉄骨造	68	R1	2019	1	修繕	産業振興課
作業棟	作業棟①	軽量鉄骨造	68	R2	2020	0	-	産業振興課
	作業棟②	軽量鉄骨造	68	R2	2020	0	-	
	作業棟③	軽量鉄骨造	68	R2	2020	0	-	
	作業棟④	軽量鉄骨造	68	R2	2020	0	-	

※経過年数については令和2年度末時点

現状	今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度を行っている施設は、点検や修繕を指定管理者が実施していますが、修繕費用が高額となる場合は村が負担することもあります。 老朽化が進行している宜野座村堆肥センター、緑化振興会、漁港施設の荷捌き施設の更新について検討を行う必要があります。 宜野座村堆肥センターは宜野座村の畜産農家の経営を円滑にする上では必要な施設ですが、経営については見直しが必要となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度を実施している施設は、点検や修繕を指定管理者へ委託していますが、村としても点検内容や頻度について把握を行い、安全管理に努めます。 宜野座村オガコ施設や宜野座村畜産センターも指定管理者制度を導入し、施設運営の効率化を図ります。 宜野座村堆肥センターは、施設運営費用削減のため、堆肥製造工程変更に伴う設備（スクリーン設備）の導入の検討を行います。また、豚尿処理施設の

<ul style="list-style-type: none"> • 宜野座村畜産センターは平成 26 年度に JA より移管しています。移管時に建物の改修を実施しましたが、7 年後には耐用年数が経過するため、今後の更新についても検討する必要があります。 • リースハウス施設のビニール・ネットについては耐用年数が経過する5~8 年程度に一度は村が修繕していますが、台風被害による修繕費や光熱水費は農家の方が支出しています。宜野座村葉野菜高設栽培施設の高設ベンチネットの老朽化が進んでいるため、修繕が必要な状況となっています。 • 農業育成センターは平成 27 年度に事務所の建替えを実施していますが、ハウス施設については今後、修繕を検討する必要があります。 • 宜野座村 IT 産業等集積拠点施設の点検は法定点検に基づき実施しています。電気設備や空調設備が老朽化しているため、修繕を行う必要があります。修繕費用は基金を積み立て、捻出しています。 • 平成 30 年度の供用開始に向けて、漢那福地川リバーパークの整備を実施しています。 	<p>運営は、堆肥センターの経営を圧迫しているため、利用料金の見直しを検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • リースハウス施設は今後も新規就農者への育成や、県内外へ葉野菜の需要が見込まれるため、漢那区へリースハウス施設を新設予定となっています。事業期間は平成 28 年度から平成 32 年度までとなっており、4 棟のビニールハウスを新設します。 • 今後の老朽化に向けて、法定点検の結果や耐用年数等から事前に大規模改修時期を把握し、修繕費用の確保に努めます。
--	---

(6) 子育て支援施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年度		経過年数	方針	担当課
				和暦	西暦			
松田幼稚園	園舎	鉄筋コンクリート	203	H8	1996	24	集約化	教育課
宜野座幼稚園	園舎	鉄筋コンクリート	252	H10	1998	22	集約化	教育課
	園舎(増築)	鉄筋コンクリート	49	H20	2008	12	集約化	
漢那幼稚園	園舎	鉄筋コンクリート	203	H7	1995	25	集約化	教育課
	漢那幼稚園倉庫	軽量鉄骨造		H30	2018	2	集約化	
宜野座村保育所	保育所	鉄筋コンクリート	601	H8	1996	24	集約化	健康福祉課
	厨房(増築分)	鉄筋コンクリート	10	H27	2015	5	集約化	
	増築分	鉄筋コンクリート	18	H29	2017	3	集約化	

※経過年数については令和2年度末時点

現状	今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園施設の点検は学校施設状況調査に基づいて実施しています。 宜野座保育所は児童数の増加により、待機児童が増加しています。施設の点検については特殊施設点検に基づいて点検を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 宜野座保育所は待機児童解消のために、平成28年度から29年度にかけて増築等に機能強化を実施します。 幼保一体型の認定保育園の導入について検討を行います。

(7) 保健・福祉施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年度		経過年数	方針	担当課
				和暦	西暦			
宜野座村松田福祉住宅	住宅	鉄筋コンクリート	79	S57	1982	38	廃止	健康福祉課
宜野座村保健相談センター	保健相談センター	鉄筋コンクリート	264	S57	1982	38	複合化	健康福祉課
宜野座村障害者福祉センター	障害者福祉センター	鉄筋コンクリート	257	H20	2008	12	修繕	健康福祉課
宜野座村地域福祉センター	地域福祉センター	鉄筋コンクリート	1,766	H3	1991	29	修繕	健康福祉課
海洋型健康増進施設	海洋型健康増進施設	鉄筋コンクリート	4,286	H14	2002	18	長寿命化	企画課

※経過年数については令和2年度末時点

現状	今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> 宜野座村保健相談センターは平成2年度に旧診療所を用途変更し、利用しています。施設の老朽化のため、空調施設や水道施設の更新が必要となっています。健康診断や乳幼児健診、運動教室等で利用されていますが、施設の規模が小さいため、健康診断や乳幼児健診は中央公民館で実施する場合があります。 宜野座村障害者福祉センターと宜野座村地域福祉センターは、社会福祉協議会が指定管理者となっています。宜野座村障害者福祉センターは、建設後7年のため、老朽化等の問題はありませんが、宜野座村地域福祉センターは建設後24年が経過しているため、今後は漏水・防水工事等の大規模修繕が見込まれます。 カンナ タラソ ラグーナは、海の近くということもあり、塩害の問題があります。指定管理者制度を実施しており、指定管理前からある設備については村が大規模修繕に要する費用を支 	<ul style="list-style-type: none"> 宜野座保健相談センターは建替えを実施する場合は、他の施設へ機能を移転することも検討します。 宜野座村地域福祉センターは専門業者と連携した施設の点検を実施することで、大規模修繕時期の把握を行います。 カンナ タラソ ラグーナは塩害対策を実施し、施設の長寿命化を図ります。

<p>出していますが、指定管理後に整備された設備の修繕については指定管理者が実施しています。</p>	
--	--

(8) 行政系施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年度		経過年数	方針	担当課
				和暦	西暦			
宜野座村庁舎	庁舎	鉄筋コンクリート	5,146	H7	1995	25	長寿命化	総務課

※経過年数については令和2年度末時点

現状	今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> 宜野座村役場は建設後 20 年が経過しているため、電気設備や空調設備の老朽化、外壁の劣化が見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の老朽化に向けて法定点検の結果や耐用年数等から事前に大規模改修時期を把握し、地球温暖化対策も考慮した修繕を行います。 <p>地球温暖化対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照明施設の LED 化 ・自家発電設備の導入 ・空調監視システムの導入による省エネ化

(9) 公営住宅

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年度		経過年数	方針	担当課
				和暦	西暦			
村営松田団地	A棟	鉄筋コンクリート	128	S57	1982	38	建替え	建設課
	B棟	鉄筋コンクリート	128	S57	1982	38	建替え	
	C棟	鉄筋コンクリート	128	S57	1982	38	建替え	
	D棟	鉄筋コンクリート	128	S57	1982	38	建替え	
村営湯原団地	A棟	鉄筋コンクリート	129	S61	1986	34	建替え	建設課
	B棟	鉄筋コンクリート	129	S61	1986	34	建替え	
	C棟	鉄筋コンクリート	129	S61	1986	34	建替え	
	D棟	鉄筋コンクリート	129	S61	1986	34	建替え	
村営宜野座団地	A棟	鉄筋コンクリート	952	H18	2006	14	維持管理	建設課
	B棟	鉄筋コンクリート	952	H18	2006	14	維持管理	
村営宜野座第2団地	A棟	鉄筋コンクリート	129	S59	1984	36	集約化	建設課
	B棟	鉄筋コンクリート	129	S59	1984	36	集約化	
	C棟	鉄筋コンクリート	129	S59	1984	36	集約化	
	D棟	鉄筋コンクリート	129	S59	1984	36	集約化	
村営宜野座第3団地	1号棟	鉄筋コンクリート	130	S62	1987	33	集約化	建設課
	2号棟	鉄筋コンクリート	130	S62	1987	33	集約化	
	3号棟	鉄筋コンクリート	130	S62	1987	33	集約化	
	4号棟	鉄筋コンクリート	130	S62	1987	33	集約化	
村営惣慶団地	A棟	鉄筋コンクリート	129	S59	1984	36	集約化	建設課
	B棟	鉄筋コンクリート	129	S59	1984	36	集約化	
	C棟	鉄筋コンクリート	129	S59	1984	36	集約化	
	D棟	鉄筋コンクリート	129	S59	1984	36	集約化	
村営惣慶第2団地	E棟	鉄筋コンクリート	129	S61	1986	34	集約化	建設課
	F棟	鉄筋コンクリート	129	S61	1986	34	集約化	
	G棟	鉄筋コンクリート	129	S61	1986	34	集約化	
	H棟	鉄筋コンクリート	129	S61	1986	34	集約化	
村営福山団地	A棟	鉄筋コンクリート	129	S60	1985	35	建替え	建設課
	B棟	鉄筋コンクリート	129	S60	1985	35	建替え	
	C棟	鉄筋コンクリート	129	S60	1985	35	建替え	
	D棟	鉄筋コンクリート	129	S60	1985	35	建替え	
村営福山第2団地	E棟	鉄筋コンクリート	269	H5	1993	27	長寿命化	建設課
	集会場	鉄筋コンクリート	34	H5	1993	27	-	
村営福山第3団地	A棟	鉄筋コンクリート	432	H21	2009	11	維持管理	建設課
	B棟	鉄筋コンクリート	311	H21	2009	11	維持管理	

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年度		経過年数	方針	担当課
				和暦	西暦			
村営溪那団地	A棟	鉄筋コンクリート	129	S58	1983	37	建替え	建設課
	B棟	鉄筋コンクリート	129	S58	1983	37	建替え	
	C棟	鉄筋コンクリート	129	S58	1983	37	建替え	
	D棟	鉄筋コンクリート	129	S58	1983	37	建替え	
	E棟	鉄筋コンクリート	129	S58	1983	37	建替え	
村営溪那第2団地	1号棟	鉄筋コンクリート	130	S62	1987	33	建替え	建設課
	2号棟	鉄筋コンクリート	130	S62	1987	33	建替え	
	3号棟	鉄筋コンクリート	130	S62	1987	33	建替え	
	4号棟	鉄筋コンクリート	130	S62	1987	33	建替え	
村営城原団地	A棟	鉄筋コンクリート	129	S60	1985	35	建替え	建設課
	B棟	鉄筋コンクリート	129	S60	1985	35	建替え	
	C棟	鉄筋コンクリート	129	S60	1985	35	建替え	
	D棟	鉄筋コンクリート	129	S60	1985	35	建替え	
村営城原第2団地	1号棟	鉄筋コンクリート	170	H10	1998	22	長寿命化	建設課
	2号棟	鉄筋コンクリート	170	H10	1998	22	長寿命化	
村営城原第3団地	1号棟	鉄筋コンクリート	349	H23	2011	9	修繕	建設課

※経過年数については令和2年度末時点

現状	今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> 平成 23 年度に作成した公営住宅長寿命化計画を基に、施設の修繕等を実施しています。また、平成 27 年度に劣化診断調査を実施しています。 入居者より、バリアフリーの要望があります。 宜野座村松田福祉住宅は昭和 57 年度に建築されたため、老朽化が進行しています。水回りや天井の防水工事等の修繕は行っていますが、床や台所等の修繕も必要となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も公営住宅長寿命化計画、劣化診断調査の結果を基に、計画的に施設の更新を実施します。 公営住宅のバリアフリー化を検討します。 宜野座村松田福祉住宅については、公営住宅との統合も含めた今後の施設の在り方を検討します。

(10) 公園

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年度		経過年数	方針	担当課
				和暦	西暦			
宜野座村立漢那児童公園	便所	鉄筋コンクリート	6	H2	1990	30	修繕	建設課
宜野座村立宜野座区児童公園	児童公園便益施設(トイレ)	鉄筋コンクリート	50	S54	1979	41	修繕	建設課
宜野座村立城原近隣公園	便所	鉄筋コンクリート	23	H5	1993	27	修繕	建設課
宜野座村立城原児童公園	便所	コンクリートブロック	18	S59	1984	36	修繕	建設課
宜野座村立福山児童公園	便所	鉄筋コンクリート	17	S58	1983	37	修繕	建設課
	トイレ	鉄筋コンクリート	12	R2	2020	0	-	
宜野座村立松田地区農村公園	便所	鉄筋コンクリート	20	S60	1985	35	修繕	産業振興課
宜野座村農村公園	便所	鉄筋コンクリート	40	S58	1983	37	修繕	産業振興課
宜野座村立ヒーピー海岸交流広場	休憩所	鉄筋コンクリート	40	H16	2004	16	修繕	産業振興課
	便所	鉄筋コンクリート	20	H16	2004	16	修繕	
	シャワー室	鉄筋コンクリート	10	H16	2004	16	修繕	
	シャワー室	鉄筋コンクリート	10	H16	2004	16	修繕	
宜野座子供の交通安全広場	便所及び倉庫	鉄筋コンクリート	13	S58	1983	37	修繕	総務課
宜野座村立憩慶並松公園	トイレ	鉄筋コンクリート	6	H27	2015	5	修繕	建設課
宜野座村立古島公園	トイレ	鉄筋コンクリート	6	H22	2010	10	修繕	建設課
松田高松街区公園	多目的トイレ	鉄筋コンクリート	7	H28	2016	4	修繕	建設課
	物置	鉄筋コンクリート	7	H28	2016	4	修繕	

※建物を所有する公園の一覧になります。
 ※経過年数については令和2年度末時点

現状	今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度を実施している施設については、指定管理者である各区が施設の維持管理を行っていますが、東屋等の大規模修繕等、横断防止策等の修繕は村が実施しています。 平成28年度に、松田高松街区公園の整備を実施しています。 子育て世代からの要望のため、宜野座村農村公園に遊具施設の整備を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 各指定管理者がどのような施設点検を行っているか把握し、点検内容から、遊具施設の安全管理や施設の修繕費用の確保に努めます。

(11) 上水道施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年度		経過年数	方針	担当課
				和暦	西暦			
松田浄水場	松田浄水場	鉄筋コンクリート	2,550	H5	1993	27	-	上下水道課
福山浄水場	管理棟	鉄筋コンクリート	377	H6	1994	26	-	上下水道課
	本館	鉄筋コンクリート	377	H6	1994	26	-	上下水道課
	活性炭注入棟	鉄筋コンクリート	31	H20	2008	12	-	上下水道課
	発電機室	鉄筋コンクリート	26	H7	1995	25	-	上下水道課
潟原取水ポンプ施設	取水ポンプ施設（管理棟）	鉄筋コンクリート	25	H13	2001	19	-	上下水道課
漢那ダム取水ポンプ施設	漢那ダム取水ポンプ施設	鉄筋コンクリート	126	H10	1998	22	-	上下水道課
漢那ダム導水ポンプ施設	漢那ダム導水ポンプ施設	鉄筋コンクリート	280	H5	1993	27	-	上下水道課
宜野座加圧ポンプ場	宜野座加圧ポンプ場	鉄筋コンクリート	122	H3	1991	29	-	上下水道課
漢那橋ポンプ場	漢那橋ポンプ場	鉄筋コンクリート	193	H10	1998	22	-	上下水道課
城原加圧ポンプ場	城原加圧ポンプ場	鉄筋コンクリート	78	H13	2001	19	-	上下水道課

※経過年数については令和2年度末時点

現状	今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> 松田浄水場系（松田浄水場、潟原ポンプ施設等）は配水管の漏水のため現在は使用されておらず、福山浄水場系（福山浄水場、漢那ダム導水ポンプ施設等）のみで水道水の供給を行っています。 施設の点検は職員による日常点検の他にも、専門業者による点検を実施しています。 施設の更新は平成 24 年度に作成した宜野座村水道ビジョンを基に実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用されていない松田浄水場系の施設については、民間への譲渡も含めた今後の施設の活用を検討します。 今後の更新も宜野座村水道ビジョンや施設点検結果を基に、計画的に実施します。

(12) 下水道施設

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年度		経過年数	方針	担当課
				和暦	西暦			
松田地区クリーンセンター	クリーンセンター	鉄筋コンクリート	497	H14	2002	18	-	上下水道課
惣慶地区クリーンセンター	クリーンセンター	鉄筋コンクリート	307	H8	1996	24	-	上下水道課
宜野座地区クリーンセンター	クリーンセンター	鉄筋コンクリート	141	H1	1989	31	-	上下水道課
漢那・城原地区クリーンセンター	汚水処理施設	鉄筋コンクリート	913	H20	2008	12	-	上下水道課
漢那地区中継ポンプ場P4	ポンプ場	鉄筋コンクリート	141	H1	1989	31	-	上下水道課

※経過年数については令和2年度末時点

現状	今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> 毎年、機械設備の故障のため、修繕が発生しており、松田地区クリーンセンターの機械設備も老朽化のため更新の必要があります。 施設の点検は、職員による点検と専門業者による点検を実施しています。 平成 27 年度に農業集落排水施設最適整備構想を計画しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 処理地域の見直しのため、中継ポンプ施設の削減を検討します。 今後の施設更新は、農業集落排水施設最適整備構想や施設の点検結果より計画的に実施します。

2 インフラ系施設

(1) 村道

現状	今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> • 月に一度や、台風等の災害時後に職員による見回りの点検を実施し、修繕箇所等の確認を行っています。 • 平成27年度に道路ストック状況調査を実施しています 	<ul style="list-style-type: none"> • 今後の修繕は平成27年度に実施した道路ストック状況調査の結果より、計画的に実施します。 • 平成28年度から平成30年度における村道の拡張や修繕は下記の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成28年度 <ul style="list-style-type: none"> • 村道中原線（休憩施設を含む） • 村道宜野座サンパーク1号線 • 村道松田平松1号線 ◆ 平成29年度 <ul style="list-style-type: none"> • 村道中原線 • 村道赤平線 • 村道城原第2横断線 • 村道待口線 • 村道宜野座サンパーク2号線 ◆ 平成30年度 <ul style="list-style-type: none"> • 村道宜野座古島線 • キャンプハンセン道路（福山進入路）

(2) 農道

現状	今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> • 現在の農道の修繕対応としては、住民から陥没等の報告があった場合や、見回り点検の際に確認した箇所を修繕しています。 • 点検は台風の後や年に数回の見回りを実施しています。 • 現在は灌漑配水の修繕対応のため、農道を掘り返すことが多くなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> • 農道の舗装率は約75%となっていますが、舗装率を100%にするのではなく、隣接する農地の状況に合わせて舗装を実施します。 • 平成33年度までに、土地改良にて区画整理された地域に7本の農道が新設予定となっています。

(3) 橋梁

現状	今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> • 村内の橋梁は、建設後50年以上経過する橋梁は無いため、老朽化率は低いと言えます。 • 平成24年度に作成した橋梁長寿命化計画を策定しています。予防保全型の修繕を実施することで、これまでの対症療法型修繕と比べて約24億円のコスト削減が見込まれます。 	<ul style="list-style-type: none"> • 今後も橋梁長寿命化計画を基に予防保全型の修繕を実行し、コストの削減や安全性の確保に努めます。

(4) 上水道管

現状	今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> • 宜野座村においては、平成7年から平成13年にかけてが管路布設工事のピークであり、6年間で約52km布設しています。昭和62年以前に布設した管路は老朽化のため、更新が必要となっています。なお、最も古い管路は昭和53年に布設されています。 • 平成27年度に管路耐震化・更新計画書を作成しています。 	<ul style="list-style-type: none"> • 管路耐震化・更新計画書に従って、計画的に管路の更新を実施します。

(5) 下水道管

現状	今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> • 下水道管の耐震化は未実施となっています。 • 平成27年度に農業集落排水施設最適整備構想を計画しています。 	<ul style="list-style-type: none"> • 下水道管の耐震化について検討します。 • 今後の施設更新は、農業集落排水施設最適整備構想に基づいて、計画的に実施します。

宜野座村公共施設等総合管理計画

令和4年6月

宜野座村役場 総務課

〒904-1392 沖縄県国頭郡宜野座村字宜野座 296 番地

TEL 098-968-5111 FAX 098-968-5037